

平成24年度

財団法人 下関市公営施設管理公社

事業計画書

収支予算書

財団法人 下関市公営施設管理公社

目 次

平成24年度 事業計画書及び収支予算書

○ 事業計画書	1
○ 収支予算書総括表	3
○ 一般会計（15事業・15事業所）	
○ 特別会計（3事業・3事業所）	
○ 一般会計 指定管理事業・受託事業収支予算書	4
1. 本社	6
2. 火の山地区観光施設管理運営業務	9
3. 下関市勤労青少年ホーム	11
4. 唐戸市場駐車場	13
5. 下関市長府体育館 ・長府運動場	15
6. 下関市市民プール ・長府扇町運動広場	17
7. 下関市彦島体育館 ・下関市彦島庭球場 ・彦島地区公園多目的広場	19
8. 下関市立美術館	21
9. 下関市勤労者総合福祉センター	23
10. 長府庭園	25
11. 下関市ふれあい健康ランド	27
12. 長府毛利邸	29
13. 粗大ごみ等受付センター	31
14. 下関市菊川温泉プール	33
15. 下関市スポーツセンター ・下関市体育館 ・下関市営下関庭球場 ・下関市弓道場 ・下関市向洋グラウンド ・下関市フットサル場	35
○ 特別会計	
○ 指定管理事業 下関市満珠荘特別会計	37
○ 収益事業 売店特別会計	40
駐車場特別会計	43
○ 福利厚生事業 福利厚生事業特別会計	45

1. 事業計画書

(1) 基本方針

財団法人下関市公営施設管理公社は、下関市と密接な連携を保ち、下関市が設置する施設の管理運営について、下関市から指定管理及び委託を受け、施設の設置目的を達成することによって市民の福利厚生に寄与することを目的としている。

この目的を達成するため、下関市から指定管理及び委託を受けた施設の条例等による管理内容と公共性を十分理解し、施設の設置目的の実現に向け効率、効果的な事業運営に努める。

施設管理においては、「下関市環境方針」に基づき、省エネルギー、省資源、廃棄物減量など、環境への負荷低減に努め、適切な管理を行う。

公共施設の観点から、個人情報の保護に関する法律及び「下関市個人情報保護条例」等、業務上知り得た個人情報の保護の重要性を認識し、その取り扱いを適正に行うことに努め、違反した職員に就業規則による罰則を適用すると共に、パソコン等情報機器等の防御的技術対策を行う。

平成18年度から導入された指定管理者制度の趣旨を理解し、公益事業として施設管理、利用者に対する更なる提供サービスの向上と経費節減への取組みに努める。

規制緩和による競争、余暇の過ごし方の多様化、景気の減速等による利用者数の減少傾向等公社を取り巻く情勢が非常に厳しくなっている現在、全職員が経営環境を今まで以上に認識し、利用者が求める事業展開と健全な経営及び中長期に渡る経営計画の目標達成に努める。

平成20年12月1日の公益法人新制度施行に伴い、平成24年度においては現在の特例民法法人から一般財団法人への移行認可申請を行い、平成25年度からの組織整備を行う。

(2) 事業計画

平成24年度 財団法人下関市公営施設管理公社の事業は、次のとおり。

一般会計（15事業・15事業所）、特別会計（3事業・3事業所）、計18事業18事業所とする。

平成24年度事業は、一般会計76名（職員57名、嘱託職員19名）、特別会計12名（職員8名、嘱託職員4名）、計88名（職員65名、嘱託職員23名）の職員をもって実施する。

ア. 一般会計

指定管理事業及び業務受託事業（15事業・15事業所）

下関市からの指定管理及び委託を受けた公共施設等の管理業務について、利用者に満足していただくための運営に努める。

一般会計における指定管理施設及び受託施設

担当部・課名	指定管理施設及び受託施設 (※受託施設及び受託業務)
産業経済部 ・商工振興課 ・市場管理課	・下関市勤労青少年ホーム(愛称:ユーパール下関) ・下関市勤労者総合福祉センター(愛称:下関アクティブセンター) ※唐戸市場駐車場
観光交流部 ・観光施設課 ・スポーツ振興課	※火の山地区観光施設管理運営業務 ・長府庭園 ・下関市ふれあい健康ランド(愛称:ヘルシーランド下関) ・長府毛利邸 ・下関市長府体育館 ・長府運動場 ・下関市市民プール ・長府扇町運動広場 ・下関市彦島体育館 ・下関市彦島庭球場 ・彦島地区公園多目的広場 ※下関市スポーツセンター

担当部・課名	指定管理施設及び受託施設	(※受託施設及び受託業務)
教育委員会 ・美術館	※下関市立美術館	
環境部 ・クリーン推進課	※粗大ごみ等受付センター	
菊川総合支所 ・地域政策課	・下関市菊川温泉プール	

イ. 特別会計

指定管理事業（1事業・1事業所）

下関市からの指定管理を受けた下関市満珠荘の管理業務について、利用者に満足していただくための運営に努める。

特別会計における指定管理施設

担当部・課名	指定管理施設
福祉部 ・いきいき支援課	・下関市満珠荘

特別会計事業（2事業・2事業所）

（ア）収益事業特別会計（1事業・2事業所）

売店特別会計事業

駐車場特別会計事業

（イ）福利厚生事業特別会計（1事業）

(3) 管理運営

ア. 下関市から指定管理及び委託を受けた各施設の管理業務について、下関市と連携を密にし、効率的な運営並びに利用者に満足していただくための運営に努める。

イ. 業務遂行にあたっては、職員研修の実施により適切に指導し、敏速に処理をする。

ウ. 公金の管理及び指定管理料と受託料の執行については、安全かつ厳正を期する。

エ. 職員の健康保持並びに職場環境の改善に努める。

オ. 一般会計事業の指定管理及び委託を受けた施設において、利用者の利便を図るサービス提供を目的とした売店事業特別会計を実施する。

収支予算書総括表

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:千円)

科目	一般会計 (指定管理事業 ・受託事業)	収益事業 満珠荘 特別会計	収益事業 売店 特別会計	収益事業 駐車場 特別会計	福利厚生 事業 特別会計	内部 取引 消去	合計	前年度予算額 (平成23年度)	増減
I 事業活動収支の部									
大科目 中科目									
1. 事業活動収入									
① 基本財産運用収入	(12)						(12)	(16)	(△ 4)
基本財産利息収入	12						12	16	△ 4
② 事業収入	(473,874)	(90,506)	(13,712)	(6,024)			(584,116)	(460,039)	(124,077)
公社事業収入	473,874						473,874	437,628	36,246
満珠荘事業収益		90,506					90,506	9,218	81,288
売店事業収益			13,712				13,712	13,193	519
駐車場事業収益				6,024			6,024	-	6,024
④ 雑収入	(51)	(2)	(332)	(2)	(1)		(388)	(422)	(△ 34)
受取利息収入	36	1	25	1	1		64	110	△ 46
雑収入	15	1	307	1			324	312	12
事業活動収入計	473,937	90,508	14,044	6,026	1	-	584,516	460,477	124,039
2. 事業活動支出									
① 事業費支出	(441,197)	(86,742)	(12,729)	(6,000)	(2,725)		(549,393)	(461,974)	(87,419)
事業費支出	441,197						441,197	406,306	34,891
満珠荘事業費用		86,742					86,742	39,977	46,765
売店事業費用			12,729				12,729	11,891	838
駐車場事業費用				6,000			6,000	-	6,000
福利厚生事業費用					2,725		2,725	3,800	△ 1,075
③ 管理費支出	(41,745)		(1,283)				(43,028)	(45,139)	(△ 2,111)
管理費支出	41,745		1,283				43,028	45,139	△ 2,111
本社費	32,740		1,283				34,023	33,023	1,000
退職手当	9,005						9,005	12,116	△ 3,111
事業活動支出計	482,942	86,742	14,012	6,000	2,725	-	592,421	507,113	85,308
事業活動収支差額	△ 9,005	3,766	32	26	△ 2,724		△ 7,905	△ 46,636	38,731
II 投資活動収支の部									
1. 投資活動収入									
① 特定資産取崩収入	9,005						9,005	12,116	△ 3,111
退職給付引当資産取崩収入	9,005						9,005	12,116	△ 3,111
投資活動収入計	9,005						9,005	12,116	△ 3,111
2. 投資活動支出									
① 特定資産取得支出									
投資活動支出計									
投資活動収支差額	9,005						9,005	12,116	△ 3,111
III 財務活動収支の部									
1. 財務活動収入									
財務活動収入計		0	3,766				3,766	30,757	△ 26,991
2. 財務活動支出									
財務活動支出計		3,766	0				3,766	30,757	△ 26,991
財務活動収支差額		△ 3,766	3,766				0	0	0
IV その他									
1. 予備費支出					(114)		(114)	(391)	(△ 277)
予備費支出					114		114	391	△ 277
予備費支出計					114		114	391	△ 277
当期収支差額	0	0	3,798	26	△ 2,838		986	△ 34,911	35,897
当期収入合計	482,942	90,508	17,810	6,026	1	-	597,287	503,350	93,937
当期支出合計	482,942	90,508	14,012	6,000	2,839	-	596,301	538,261	58,040
前期繰越収支差額	0	0	23,815	0	4,058		27,873	29,191	△ 1,318
前期繰越収支差額	0	0	23,815	0	4,058		27,873	29,191	△ 1,318
次期繰越収支差額	0	0	27,613	26	1,220		28,859	25,039	3,820

注1) これは、新公益法人会計基準に基づき作成された予算書で、決算における収支計算書に対応するものです。

注2) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注3) 平成24年度に予算計上のないものについては、『-』表示している。

収 支 予 算 書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:千円)

科目		当年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部					
大科目 中科目	小科目				
1. 事業活動収入					
① 基本財産運用収入		(12)	(16)	(△ 4)	
1 基本財産利息収入		12	16	△ 4	
	1 定期預金利息	12	16	△ 4	
② 事業収入		(473,874)	(437,628)	(36,246)	
1 公社事業収入		473,874	437,628	36,246	
(1) 本社管理費収入		32,677	31,322	1,355	
(2) 火の山地区観光施設管理運営事業収入		17,778	17,016	762	
(3) 下関市勤労青少年ホーム事業収入		21,847	21,377	470	
(4) 唐戸市場駐車場事業収入		26,444	25,701	743	
(5) 下関市長府体育館事業収入		18,328	17,525	803	
(6) 下関市市民プール事業収入		37,878	39,853	△ 1,975	
(7) 下関市彦島体育館事業収入		21,217	20,604	613	
(8) 下関市立美術館事業収入		19,451	20,980	△ 1,529	
(9) 下関市勤労者総合福祉センター事業収入		23,987	23,618	369	
(10) 長府庭園事業収入		35,522	35,312	210	
(11) 下関市ふれあい健康ランド事業収入		110,098	111,509	△ 1,411	
(12) 長府毛利邸事業収入		25,342	25,095	247	
(13) 粗大ごみ等受付センター事業収入		44,912	47,716	△ 2,804	
(14) 下関市菊川温泉プール事業収入		11,408	—	11,408	
(15) 下関市スポーツセンター事業収入		26,985	—	26,985	
③ 雑収入		(51)	(47)	(4)	
1 受取利息収入		36	42	△ 6	
	1 受取利息	36	42	△ 6	
2 雑収入		15	5	10	
	1 雑収入	15	5	10	
事業活動収入計		473,937	437,691	36,246	
2. 事業活動支出					
① 事業費支出		(441,197)	(406,306)	(34,891)	
1 事業費支出		441,197	406,306	34,891	
(2) 火の山地区観光施設管理運営事業費		17,778	17,016	762	
(3) 下関市勤労青少年ホーム事業費		21,847	21,377	470	
(4) 唐戸市場駐車場事業費		26,444	25,701	743	
(5) 下関市長府体育館事業費		18,328	17,525	803	
(6) 下関市市民プール事業費		37,878	39,853	△ 1,975	
(7) 下関市彦島体育館事業費		21,217	20,604	613	
(8) 下関市立美術館事業費		19,451	20,980	△ 1,529	
(9) 下関市勤労者総合福祉センター事業費		23,987	23,618	369	
(10) 長府庭園事業費		35,522	35,312	210	
(11) 下関市ふれあい健康ランド事業費		110,098	111,509	△ 1,411	
(12) 長府毛利邸事業費		25,342	25,095	247	
(13) 粗大ごみ等受付センター事業費		44,912	47,716	△ 2,804	
(14) 下関市菊川温泉プール事業収入		11,408	—	11,408	
(15) 下関市スポーツセンター事業収入		26,985	—	26,985	
③ 管理費支出		(41,745)	(43,501)	(△ 1,756)	
1 管理費支出		41,745	43,501	△ 1,756	
(1) 本社費		32,740	31,385	1,355	
(2) 退職手当		9,005	12,116	△ 3,111	
事業活動支出計		482,942	449,807	33,135	
事業活動収支差額		△ 9,005	△ 12,116	3,111	

収 支 予 算 書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入	(9,005)	(12,116)	(△ 3,111)	
1 退職給付引当資産取崩収入	9,005	12,116	△ 3,111	1 退職給付引当資産取崩収入
投資活動収入計	9,005	12,116	△ 3,111	
2. 投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	
投資活動収支差額	9,005	12,116	△ 3,111	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計				
2. 財務活動支出				
財務活動支出計				
財務活動収支差額				
IV その他				
1. 予備費支出				
1 予備費支出				
予備費支出計				
当期収支差額	0	0	0	
当期収入合計	482,942	449,807	33,135	
当期支出合計	482,942	449,807	33,135	
前期繰越収支差額				
前期繰越収支差額				
次期繰越収支差額				

注1) これは、新公益法人会計基準に基づき作成された予算書で、決算における収支計算書に対応するものです。

注2) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注3) 予算計上のないものについては、『-』表示している。

平成24年度

一般会計

事業計画書

収支予算書

1. 本 社

1. 事業計画書

(1) 事務局の体制

- ア. 常勤役員 理事長1名、専務理事1名
- イ. 職員数 職員5名をもって管理運営を行う。
- ウ. 動的連絡体制 連絡車2台（運搬車1台含む）

(2) 事務局の運営

下関市より指定管理及び委託を受けた施設の適正な管理運営を行うとともに自主企画事業及びこれらに必要な付帯事業について、下関市及び関係各機関との連絡調整等緊密な連携を図り、効率的かつ効果的な運営を進める。

施設管理業務を適正に遂行するために、各事業所の指導及び連絡調整を行い、次の業務を行う。

- ア. 公益法人制度に基づく認可の早期取得に向け申請準備を行う。
- イ. 事業計画及び収支予算案等の策定を行う。
- ウ. 一般会計及び特別会計の決算を行う。
- エ. 職員の人事、給与及び福利厚生に関すること。
- オ. 全事業所の契約に関すること。
- カ. 全事業所の出納事務に関すること。
- キ. 市民サービスを充実するために職員研修を実施する。
- ク. 必要に応じ、管理事務所の責任者を集め責任者会議を実施する。

(3) 各事業所への指導

「最少経費で最大効果を挙げること」を目的とし、各事業の効率的、かつ効果的な運営を図るために管理事務所を設置し、当該事業の掌握事務を管理する責任者として役付職員を配置し、業務・事務処理を行うよう指導する。

常に、職員による巡視点検・監視体制の強化をはかり、利用者の安全管理及び安全確保に努めるよう指導する。

消防設備の点検を定期的実施し、常時その機能を最良の状態に維持し、災害に備える。

また、業務終了後も機械警備、緊急時の警備員の派遣を警備会社へ委託し、夜間においても緊急連絡体制を確立し、24時間管理に万全を期するよう指導する。個人情報保護の重要性を認識し、業務に関して知り得た個人情報の漏えい、滅失、き損の防止その他の個人情報の適切な管理のために必要な措置を講ずるよう指導する。

(4) 事務局の計画

ア. 事務取扱方の合理化推進について

各事業所において、必要な経費の支出の事務取扱等について、整理統一、決裁区分の見直し、処理の簡素化を図り、事務効率の改善を実施し合理化を図る。

イ. ITの有効活用について

インターネットを利用して、各事業所への情報伝達の迅速化及び事務改善に努める。

収 支 予 算 書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:千円)

科目		当年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部					
大科目 中科目	小科目				
1. 事業活動収入					
① 基本財産運用収入		(12)	(16)	(△ 4)	
1 基本財産利息収入		12	16	△ 4	
	1 定期預金利息	12	16	△ 4	
② 事業収入		(32,677)	(31,322)	(1,355)	
1 事業収入		32,677	31,322	1,355	
(1) 本社管理費収入		32,677	31,322	1,355	
	2 火の山地区観光施設管理運営管理費収入	1,698	1,321	377	
	3 下関市勤労青少年ホーム管理費収入	712	1,632	△ 920	
	4 唐戸市場駐車場管理費収入	2,687	2,199	488	
	5 下関市長府体育館管理費収入	344	1,386	△ 1,042	
	6 下関市市民プール管理費収入	5,064	3,297	1,767	
	7 下関市彦島体育館管理費収入	752	1,390	△ 638	
	8 下関市立美術館管理費収入	1,563	1,615	△ 52	
	9 下関市勤労者総合福祉センター管理費収入	1,252	1,853	△ 601	
	10 長府庭園管理費収入	2,172	2,643	△ 471	
	11 下関市ふれあい健康ランド管理費収入	11,262	8,491	2,771	
	12 長府毛利邸管理費収入	1,370	1,917	△ 547	
	13 粗大ごみ等受付管理費収入	2,791	3,578	△ 787	
	14 下関市菊川温泉プール	10		10	
	15 下関市スポーツセンター	1,000		1,000	
③ 雑収入		(51)	(47)	(4)	
1 受取利息収入		36	42	△ 6	
	1 受取利息	36	42	△ 6	
2 雑収入		15	5	10	
	1 雑収入	15	5	10	
事業活動収入計		32,740	31,385	1,355	
2. 事業活動支出					
① 管理費支出		(41,745)	(43,501)	(△ 1,756)	
1 管理費支出		41,745	43,501	△ 1,756	
本社費		32,740	31,385	1,355	
	1 報酬	5,370	5,599	△ 229	
	2 給料	9,399	9,224	175	
	3 手当	5,437	5,189	248	
	4 共済費	3,031	1,977	1,054	
	5 退職給付費用	930	911	19	
	6 賃金	50	100	△ 50	
	7 報償費	100	20	80	
	8 旅費	95	100	△ 5	
	9 交際費	105	21	84	
	11 消耗品費	413	429	△ 16	
	12 燃料費	118	96	22	
	14 印刷製本費	23	21	2	
	15 光熱水費	450	458	△ 8	
	16 修繕料	21	53	△ 32	
	18 通信運搬費	435	378	57	
	20 手数料	782	584	198	
	22 委託料	3,465	3,780	△ 315	
	23 使用料及び賃借料	1,189	1,225	△ 36	
	26 負担金	105	65	40	
	27 公課費	1,222	1,155	67	
退職手当		9,005	12,116	△ 3,111	
	1 退職手当	9,005	12,116	△ 3,111	
事業活動支出計		41,745	43,501	△ 1,756	
事業活動収支差額		△ 9,005	△ 12,116	3,111	

収 支 予 算 書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
① 特定資産取崩収入	(9,005)	(12,116)	(△ 3,111)	
1 退職給付引当資産取崩収入	9,005	12,116	△ 3,111	1 退職給付引当資産取崩収入
投資活動収入計	9,005	12,116	△ 3,111	
2. 投資活動支出				
投資活動支出計				
投資活動収支差額	9,005	12,116	△ 3,111	
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計				
2. 財務活動支出				
財務活動支出計				
財務活動収支差額				
IV その他				
1. 予備費支出				
1 予備費支出				
予備費支出計				
当期収支差額	0	0	0	
当期収入合計	41,745	43,501	△ 1,756	
当期支出合計	41,745	43,501	△ 1,756	
前期繰越収支差額				
前期繰越収支差額				
次期繰越収支差額				

注1) これは、新公益法人会計基準に基づき作成された予算書で、決算における収支計算書に対応するものです。

注2) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注3) 予算計上のないものについては、『-』表示している。

2. 火の山地区観光施設（火の山ロープウェイ、火の山パークウェイ、火の山立体駐車場）管理運営業務

1. 事業計画書

(1) 職員構成

職員3名、嘱託職員1名をもって火の山地区観光施設（火の山ロープウェイ、火の山パークウェイ、火の山立体駐車場）の維持管理を行う。繁忙期においては、日々雇用職員を職員補助として雇用する。

(2) 営業（※市のイベント等により運行時間、開放時間等の変更あり）

1) 下関市火の山ロープウェイ 運行年間192日（注）

月 別	運 行 時 間
4月 1日（日）～11月25日（日）	10:00～17:00（夜間運行：花火大会夜間運行時8/13(月)10:00～21:00、
3月16日（金）～ 3月31日（日）	中秋の名月夜間運行9/30(日)10:00～21:00、10/1(月)14:00～21:00)

定休日（予定）：毎週火、水曜日（祝日及び一部運転予定日除く） ※ 市のイベント等により運行時間等の変更あり

（注 市観光施設課による平成24年度ロープウェイ運行日程（予定）に基づくもので、平成24年度に実施される市の運行計画に対応するため運行日程等を変更する場合がある。）

2) 下関市火の山立体駐車場、下関市火の山パークウェイ

月 別	パークウェイゲート（上り）	山頂立体駐車場	パークウェイゲート（下り）	備 考
	開 放 時 間	閉 鎖 時 間	閉 鎖 時 間	
11月～2月	8:00～21:00	22:00	22:30	
3月～10月	8:00～22:00	23:00	23:30	
1月1日	5:00～21:00	22:00	22:30	元旦 早朝営業

(3) 管理運営

- ア. 関係法令、市の条例及び規則等を遵守するとともに、人命を預かる公共輸送と施設として安全性の向上に努め施設等を常に良好な状態において管理し、施設の設置目的が最も効果的に達成できるように取り組む。
- イ. 火の山公園にある公共の観光施設として、利用者に対するサービスの向上に努め、接遇・マナーについても常に好印象を与えるよう職員各自が持っている経験や知識を共有・徹底し、下関市の観光PRに努める。
- ウ. 職員による施設の巡視点検等を実施し、事故や火災等の発生を未然に防止するとともに、利用者の安全・安心の確保及び下関市の顔である観光施設として利用者に喜ばれるように環境の整備、施設の維持に努める。
- エ. 下関市、運行に係わる市の職員と連携し、利用者の安全確保を第一とし、利用者により使いやすく、より快適な利便性を提供するため業務実施に努める。
- オ. 火の山ロープウェイの機械設備等の保守維持管理、火の山パークウェイ及び立体駐車場の場設備等の維持管理を効率・効果的に実施し、故障等トラブル発生時は直ちに応急措置の実施、利用者の安全確保に努める。
- カ. 施設の立地条件等の特性に配慮し、天候変化や路面状況変化等によるロープウェイの運休・パークウェイ通行規制等については、利用者の安全を第一に下関市や関係諸施設との連絡を密にし、秩序ある維持管理を実施する。
- キ. 火の山ロープウェイの機械設備等の保守点検、立体駐車場内の利用車両の把握、警備、監視、清掃、環境整備及びパークウェイ巡回、監視、清掃等の火の山地区観光施設の維持管理については、利用者提供する快適な環境の保持、設備の維持、美観の確保、利用者・利用車両の安全を考慮したうえで実施する。
- ク. 施設の消耗品等の補充・交換は、利用者の利便性を常に意識し、環境整備としての適切な管理を行う。
- ケ. サービスの低下を招かないように施設で使用する電気・水道等のさらなる省エネルギー化、コスト削減、環境負荷の低減を意識した施設管理に努める。
- コ. 下関市に提出した緊急対応マニュアルに基づき、事故や災害発生時には、即時的確な対応が出来る体制を構築し、必要に応じてマニュアルや体制の追加・変更を実施し、施設の安全管理に努める。
- サ. ロープウェイ乗客により快適な利用をしていただけるように更なる運転技術の向上に努め、ロープウェイの営業スタッフ研修時には、設備の説明、応急救助装置等乗客の安全確保に関する指導、営業訓練時の運転業務等、営業スタッフのスキルアップに協力し、観光施設としての向上に努める。

(4) 設備管理

- ア. 利用者の安全確保のため、火の山地区観光施設の照明設備、誘導標識、防災設備、車両監視設備等の安全設備に対して、巡回点検を的確に実施し、下関市との密接な連携により機能保全に努める。
- イ. 施設内外、パークウェイの点検巡回清掃を実施、トイレ等は衛生管理に重点をおき、快適な施設提供に努める。
- ウ. 施設・設備点検チェックリストを活用し、施設内外の巡視点検、日常点検を行い、事故等の未然防止を図る。
- エ. ロープウェイ運行に係わる機械設備等の保守については、各種法令、整備細則等に基づく点検を実施し、円滑に稼動運行するための保守整備、安全運転を徹底し、トラブル・事故等の発生防止に努め、ロープウェイでの事故等緊急時に備えた応急救助装置の点検、操作訓練等を実施し緊急対応体制に万全を期す。
- オ. 設備故障発生時等の応急措置及び下関市への報告を的確に実施し、設備の管理保守等に努める。
- カ. 防火・防災設備、避難誘導設備等の機能が的確に発揮できるよう設備に対する知識・操作の習得を行い、点検管理の万全な体制構築に努める。

収 支 予 算 書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:千円)

科目	小科目	当年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部					
大科目 中科目					
1. 事業活動収入					
① 事業収入		(19,476)	(18,337)	(1,139)	
1 事業収入		19,476	18,337	1,139	
(2) 火の山地区観光施設管理運営事業収入		17,778	17,016	762	
管理費収入 注3)		1,698	1,321	377	
事業活動収入計		19,476	18,337	1,139	
2. 事業活動支出					
① 事業費支出		(17,778)	(17,016)	(762)	
1 事業費支出		17,778	17,016	762	
(2) 火の山地区観光施設管理運営事業費		17,778	17,016	762	
1 報酬		1,590	1,547	43	
2 給料		7,904	7,442	462	
3 手当		4,354	4,222	132	
4 共済費		2,079	2,016	63	
5 退職給付費用		398	372	26	
6 賃金		490	490	0	
8 旅費		91	92	△ 1	
11 消耗品費		30	30	0	
27 公課費		842	805	37	
② 管理費支出		(1,698)	(1,321)	(377)	
1 管理費支出		1,698	1,321	377	
(1) 本社費 注3)		1,698	1,321	377	
事業活動支出計		19,476	18,337	1,139	
事業活動収支差額		0	0	0	
II 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
投資活動収入計					
2. 投資活動支出					
投資活動支出計					
投資活動収支差額					
III 財務活動収支の部					
1. 財務活動収入					
財務活動収入計					
2. 財務活動支出					
財務活動支出計					
財務活動収支差額					
IV その他					
1. 予備費支出					
予備費支出計					
当期収支差額		0	0	0	
当期収入合計		19,476	18,337	1,139	
当期支出合計		19,476	18,337	1,139	
前期繰越収支差額					
前期繰越収支差額					
次期繰越収支差額					

注1) これは、新公益法人会計基準に基づき作成された予算書で、決算における収支計算書に対応するものです。

注2) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注3) 管理費の収支は本社費において執行している。

注4) 予算計上のないものについては、『-』表示している。

3. 下関市勤労青少年ホーム

1. 事業計画書

(1) 職員構成

職員3名、嘱託職員1名をもって管理運営を行う。

(2) 営業

ア. 開館時間

月曜日及び火曜日 13:00～21:00

水曜日から土曜日まで 9:00～21:00

日曜日及び祝日 9:00～17:00

イ. 休館日

1月1日及び12月28日から翌年1月4日まで

(3) 管理運営

- ア. 市内で働く青少年が余暇を有意義に活用し、充実した職業生活ができるよう文化講座の団体の誘致に努める。
- イ. 勤労青少年及び一般市民の交流を図り広く学習機会を提供し福祉の増進と健全な育成を資すること、また、地域の方々の交流の場として、文化講座を15講座開催します。
- ウ. 平日の午前・午後の時間帯に部屋の稼働率を上げるため卓球教室、幼児を対象に、親子すくすく音楽教室を開拓し、増収・増員に努めます。
- エ. グループ・クラブ活動に対して、合同委員会の開催及び発表会行事の補佐をし、施設利用が円滑に行えるように努める。
- オ. レクリエーションの指導等の健全な活動の場を与え、自主的な社会性を育み、生産性の向上を図る支援に努める。
- カ. 若者の出会いの場及び勤労青少年と地域との交流の場を提供し、自主事業を企画・開催し施設の宣伝及び利用者の増加に努める。
- キ. 文化講座等の自主事業により勤労青少年の利用促進を図るとともに勤労青少年登録者を募集し、団体活動に繋がるように努める。
- ク. 利用者へのアンケートを行い、要望の内容を下関市へ報告するとともに、可能な限り施設運営へ反映するように努める。
- ケ. 安全な施設維持のため、施設内の巡視点検を行い、危険要因を排除し、人身事故火災、盗難等の防止のための安全確保に努める。
- コ. 消防署と連携を図り、定期的に消火訓練や避難訓練を実施する。
- サ. 職員の資質及びサービスの向上を図るため、施設内でのミーティングを実施、施設間の連携で知識の習得、技術の向上に努める。また、接遇研修等の各種研修会へ参加する。
- シ. 事故や災害等が発生した場合、責任者の指示のもと緊急対応マニュアルにより応急処置等を行う。

(4) 設備管理

- ア. 定期清掃、機械警備、冷暖房設備保守点検、貯水槽清掃・害虫駆除等の衛生管理、消防用設備保守点検を、それぞれ業務委託により行う。
- イ. 館内の照明設備、軽運動室等について、適時点検を行い、利用者の安全確保に努める。

収 支 予 算 書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:千円)

科目	小科目	当年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部					
大科目 中科目	小科目				
1. 事業活動収入					
① 事業収入		(22,559)	(23,009)	(△ 450)	
1 事業収入		22,559	23,009	△ 450	
(3) 下関市勤労青少年ホーム事業収入		21,847	21,377	470	
管理費収入 注3)		712	1,632	△ 920	
事業活動収入計		22,559	23,009	△ 450	
2. 事業活動支出					
① 事業費支出		(21,847)	(21,377)	(470)	
1 事業費支出		21,847	21,377	470	
(3) 下関市勤労青少年ホーム事業費		21,847	21,377	470	
1 報酬		1,590	1,590	0	
2 給料		7,904	7,442	462	
3 手当		3,822	3,725	97	
4 共済費		2,062	2,000	62	
5 退職給付費用		398	372	26	
8 旅費		77	78	△ 1	
11 消耗品費		253	253	0	
14 印刷製本費		10	207	△ 197	
15 光熱水費		2,538	2,474	64	
16 修繕料		365	365	0	
18 通信運搬費		175	156	19	
20 手数料		61	52	9	
21 保険料		7	7	0	
22 委託料		1,645	1,713	△ 68	
23 使用料及び賃借料		117	152	△ 35	
25 行事費		34	34	0	
27 公課費		789	757	32	
② 管理費支出		(712)	(1,632)	(△ 920)	
1 管理費支出		712	1,632	△ 920	
(1) 本社費 注3)		712	1,632	△ 920	
事業活動支出計		22,559	23,009	△ 450	
事業活動収支差額		0	0	0	
II 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
投資活動収入計					
2. 投資活動支出					
投資活動支出計					
投資活動収支差額					
III 財務活動収支の部					
1. 財務活動収入					
財務活動収入計					
2. 財務活動支出					
財務活動支出計					
財務活動収支差額					
IV その他					
1. 予備費支出					
予備費支出計					
当期収支差額		0	0	0	
当期収入合計		22,559	23,009	△ 450	
当期支出合計		22,559	23,009	△ 450	
前期繰越収支差額					
前期繰越収支差額					
次期繰越収支差額					

注1) これは、新公益法人会計基準に基づき作成された予算書で、決算における収支計算書に対応するものです。

注2) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注3) 管理費の収支は本社費において執行している。

注4) 予算計上のないものについては、『-』表示している。

4. 唐戸市場駐車場

1. 事業計画書

(1) 職員構成

職員4名、嘱託職員1名計5名をもって管理運営を行なう。

但し、繁忙時（年末・年始、関門海峡花火大会、ゴールデンウィーク）等には安全管理と渋滞緩和のため日々雇用職員を雇用して対応する。

(2) 勤務時間

午前7時から午後10時まで

繁忙期は状況に応じて調整する。

(3) 営業時間

ア. 入出場時間

0：00～24：00（年中無休・24時間営業）

(4) 管理運営

ア. 下関市との連携を図り、管理運営に万全を期する。

イ. 利用客に不快感を与えないよう接遇・サービス向上に努める。

ウ. 公金及び有価証券等の厳正なる管理に努める。

エ. 利用車両増による場内渋滞を緩和するため、事前精算等を実施することにより、入出庫の円滑化に努める。

オ. 施設内の巡視点検を行い、人身事故・火災・盗難等の防止のための安全確保に努める。

カ. 職員の資質向上のため、接遇研修等の各種研修会へ参加する。

キ. 事故や災害が発生した場合、責任者の指示のもと緊急対応マニュアルによる対応を行なう。

ク. パンフレットを設置して利用者へ下関市の広報宣伝に努める。

ケ. 市外からの観光目的の利用者のため、市内全域のイベント・行事の情報を集めて周知する努力をする。

コ. 場内及び周辺の清掃を適時行ない、環境美化に努める。

サ. 下関市と連携を図り、消火訓練及び避難訓練を実施する。

(5) 設備管理

ア. 清掃業務による環境整備、夜間機械警備の安全管理を業務委託により行なう。

イ. 場内の自動精算機等の点検を常時実施し、業務に支障の無いように努める。

ウ. 施設点検を行ない安全管理に努める。

収 支 予 算 書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:千円)

科目		当年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部					
大科目 中科目	小科目				
1. 事業活動収入					
① 事業収入		(29,131)	(27,900)	(1,231)	
1 事業収入		29,131	27,900	1,231	
(4) 唐戸市場駐車場事業収入		26,444	25,701	743	
管理費収入 注3)		2,687	2,199	488	
事業活動収入計		29,131	27,900	1,231	
2. 事業活動支出					
① 事業費支出		(26,444)	(25,701)	(743)	
1 事業費支出		26,444	25,701	743	
(4) 唐戸市場駐車場事業費		26,444	25,701	743	
1 報酬		1,590	1,547	43	
2 給料		10,539	9,922	617	
3 手当		5,451	5,144	307	
4 共済費		2,708	2,610	98	
5 退職給付費用		531	496	35	
6 賃金		50	100	△ 50	
8 旅費		6	13	△ 7	
11 消耗品費		404	390	14	
14 印刷製本費		2,385	2,806	△ 421	
16 修繕料		84	84	0	
18 通信運搬費		79	78	1	
21 保険料		50	50	0	
22 委託料		1,495	1,406	89	
23 使用料及び賃借料		26	61	△ 35	
27 公課費		1,046	994	52	
② 管理費支出		(2,687)	(2,199)	(488)	
1 管理費支出		2,687	2,199	488	
(1) 本社費 注3)		2,687	2,199	488	
事業活動支出計		29,131	27,900	1,231	
事業活動収支差額		0	0	0	
II 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
投資活動収入計					
2. 投資活動支出					
投資活動支出計					
投資活動収支差額					
III 財務活動収支の部					
1. 財務活動収入					
財務活動収入計					
2. 財務活動支出					
財務活動支出計					
財務活動収支差額					
IV その他					
1. 予備費支出					
予備費支出計					
当期収支差額		0	0	0	
当期収入合計		29,131	27,900	1,231	
当期支出合計		29,131	27,900	1,231	
前期繰越収支差額					
前期繰越収支差額					
次期繰越収支差額					

注1) これは、新公益法人会計基準に基づき作成された予算書で、決算における収支計算書に対応するものです。

注2) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注3) 管理費の収支は本社費において執行している。

注4) 予算計上のないものについては、『-』表示している。

収 支 予 算 書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:千円)

科目	小科目	当年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部					
大科目 中科目	小科目				
1. 事業活動収入					
① 事業収入		(18,672)	(18,911)	(△ 239)	
1 事業収入		18,672	18,911	△ 239	
(5) 下関市長府体育館事業収入		18,328	17,525	803	
管理費収入 注3)		344	1,386	△ 1,042	
事業活動収入計		18,672	18,911	△ 239	
2. 事業活動支出					
① 事業費支出		(18,328)	(17,525)	(803)	
1 事業費支出		18,328	17,525	803	
(5) 下関市長府体育館事業費		18,328	17,525	803	
	2 給料	7,904	7,442	462	
	3 手当	3,576	3,548	28	
	4 共済費	1,790	1,743	47	
	5 退職給付費用	398	72	326	
	8 旅費	18	20	△ 2	
	11 消耗品費	93	93	0	
	12 燃料費	-	4	△ 4	
	14 印刷製本費	43	86	△ 43	
	15 光熱水費	1,667	1,485	182	
	16 修繕料	1,000	1,000	0	
	18 通信運搬費	158	135	23	
	21 保険料	108	108	0	
	22 委託料	789	1,017	△ 228	
	23 使用料及び賃借料	95	126	△ 31	
	27 公課費	689	646	43	
② 管理費支出		(344)	(1,386)	(△ 1,042)	
1 管理費支出		344	1,386	△ 1,042	
(1) 本社費 注3)		344	1,386	△ 1,042	
事業活動支出計		18,672	18,911	△ 239	
事業活動収支差額		0	0	0	
II 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
投資活動収入計					
2. 投資活動支出					
投資活動支出計					
投資活動収支差額					
III 財務活動収支の部					
1. 財務活動収入					
財務活動収入計					
2. 財務活動支出					
財務活動支出計					
財務活動収支差額					
IV その他					
1. 予備費支出					
予備費支出計					
当期収支差額		0	0	0	
当期収入合計		18,672	18,911	△ 239	
当期支出合計		18,672	18,911	△ 239	
前期繰越収支差額					
前期繰越収支差額					
次期繰越収支差額					

注1) これは、新公益法人会計基準に基づき作成された予算書で、決算における収支計算書に対応するものです。

注2) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注3) 管理費の収支は本社費において執行している。

6. 下関市市民プール・長府扇町運動広場

1. 事業計画書

(1) 職員構成

職員2名をもって下関市市民プール、長府扇町運動広場の管理運営を行う。

(2) 営業

下関市市民プール開催期間	7月13日から8月31日まで（50日間）
下関市市民プール営業時間	9:30～18:30
長府扇町運動広場使用時間	9:00～17:00
長府扇町運動広場休場日	12月28日から翌年1月4日まで

(3) 管理運営

- ア. 下関市体育施設の設置目的や公共施設であることを十分認識し、市民の福利向上に寄与することに努める。
- イ. 施設の安全対策を重視し、最少の経費で最大の効果をあげるため、効率的な運営及び経費削減が可能な方策を考案し、下関市と連携して業務を遂行する。
- ウ. プール管理運営上で必要な知識を得るために、職員がプール衛生管理者の資格等を習得しプール内への注水、水質検査、薬品等の投入等管理を適切に行い、常時快適な環境、水質基準の維持をするとともに、監督員、監視員に対する安全講習会を実施し、万全な知識及び技術の習得を義務づけて、事故に対して迅速かつ適切な処置を実施できる体制を構築する。
- エ. 市民プール開催期間にヨーヨー釣り大会、宝さがし大会等の自主事業を企画開催し、施設の宣伝及び利用者の増加に努める。
- オ. 下関市公共予約システムの導入に伴い、長府扇町運動広場の施設予約について利用者の利便性向上のため、その普及に努める。
- カ. 長府扇町運動広場利用者のニーズに合った管理運営を目標とした上で、グランドゴルフ大会等の自主事業企画を行い、利用者増を図ることに努める。
- キ. 安全な施設維持のため施設内外の巡視点検を行い、危険要因を排除し、人身事故、火災、盗難等の防止のための安全確保に努める。
- ク. 利用者への好感度保持の為、定例会議、接遇研修及び各種研修会に参加し、職員の資質向上を図り、より多くの市民に親しまれるように努める。
- ケ. 事故や災害が発生した場合、責任者指示のもと緊急連絡網、緊急対応マニュアルにより応急処置等を行う。

(4) 設備管理

- ア. プール循環ろ過機の運転・保守点検、水質検査、浄化槽維持管理、場内外除草、開場前・後片付け清掃業務及び夜間機械警備による安全管理等については、業務委託により行なう。
- イ. プール開場中に監視員、窓口員、看護師を雇用し、安全管理について万全を期する。
- ウ. プール場内外や長府扇町運動広場を適時点検し、不良箇所の早期発見により事故防止に努める。
- エ. 長府扇町運動広場内の雑草等の環境整備、浄化槽の維持管理及び衛生管理を委託業者により行なう。
- オ. 長府扇町運動広場内のトイレ、設置している体育器具及びグランド整備器具等を適時点検し、施設の機能を確保する。

収 支 予 算 書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:千円)

科目		当年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部					
大科目 中科目	小科目				
1. 事業活動収入					
① 事業収入		(42,942)	(43,150)	(△ 208)	
1 事業収入		42,942	43,150	△ 208	
(6) 下関市市民プール事業収入		37,878	39,853	△ 1,975	
管理費収入 注3)		5,064	3,297	1,767	
事業活動収入計		42,942	43,150	△ 208	
2. 事業活動支出					
① 事業費支出		(37,878)	(39,853)	(△ 1,975)	
1 事業費支出		37,878	39,853	△ 1,975	
(6) 下関市市民プール事業費		37,878	39,853	△ 1,975	
1 報酬		1,590	1,590	0	
2 給料		2,635	2,481	154	
3 手当		1,349	1,255	94	
4 共済費		893	838	55	
5 退職給付費用		133	124	9	
6 賃金		7,799	8,516	△ 717	
8 旅費		-	2	△ 2	
11 消耗品費		784	927	△ 143	
12 燃料費		-	4	△ 4	
14 印刷製本費		108	85	23	
15 光熱水費		6,337	7,339	△ 1,002	
16 修繕料		1,000	1,000	0	
18 通信運搬費		111	143	△ 32	
20 手数料		393	411	△ 18	
21 保険料		287	259	28	
22 委託料		13,699	14,049	△ 350	
23 使用料及び賃借料		26	76	△ 50	
27 公課費		734	754	△ 20	
② 管理費支出		(5,064)	(3,297)	(1,767)	
1 管理費支出		5,064	3,297	1,767	
(1) 本社費 注3)		5,064	3,297	1,767	
事業活動支出計		42,942	43,150	△ 208	
事業活動収支差額		0	0	0	
II 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
投資活動収入計					
2. 投資活動支出					
投資活動支出計					
投資活動収支差額					
III 財務活動収支の部					
1. 財務活動収入					
財務活動収入計					
2. 財務活動支出					
財務活動支出計					
財務活動収支差額					
IV その他					
1. 予備費支出					
予備費支出計					
当期収支差額		0	0	0	
当期収入合計		42,942	43,150	△ 208	
当期支出合計		42,942	43,150	△ 208	
前期繰越収支差額					
前期繰越収支差額					
次期繰越収支差額					

注1) これは、新公益法人会計基準に基づき作成された予算書で、決算における収支計算書に対応するものです。

注2) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注3) 管理費の収支は本社費において執行している。

注4) 予算計上のないものについては、『-』表示している。

7. 下関市彦島体育館・下関市彦島庭球場・彦島地区公園多目的広場

1. 事業計画書

(1) 職員構成

職員3名をもって管理運営を行なう。

(2) 営業

ア. 使用時間

日曜日・祝日 9:00~17:00

月曜日~土曜日 9:00~22:00

イ. 休館日

12月28日から翌年1月4日まで

(3) 管理運営

ア. 下関市彦島体育館の設置目的や公共施設であることを、十分認識し市民の健康及び福祉向上に寄与するように努めます。

イ. 職員の資質向上のため接遇研修等の開催や各種研修会へ参加し、利用者に対する適切な接遇を徹底しより多くの市民に親しまれる施設となるよう努める。

ウ. 下関市公共施設予約システムを効率的に運用し、利用者の利便性向上を図りその普及に努めます。

エ. 利用者へのアンケートを行い要望や各種スポーツに対するニーズを把握し、可能な限り施設運営へ反映するように努めます。又地域スポーツの振興に寄与する。

オ. 地域との交流を図り、幼児から中高年層まで広範囲な方達を、対象に企画事業を開催し利用者の増加に努める。

カ. 地域自治会等に働きかけチラシ(案内)を配布し、施設の宣伝及び利用者の増加に努める。

キ. 安全な施設維持のため、施設内の巡視点検を行い人身事故・火災・盗難等の防止のため安全確保に努める。

ク. 消防署と連携を図り、定期的に消火訓練や避難訓練を実施する。

ケ. 事故や災害が発生した場合、責任者の指示のもと緊急対応マニュアルにより応急処置等を行う。

(4) 設備管理

ア. 体育館(床)ワックス清掃、窓、屋上清掃、貯水槽清掃の衛生管理、消防用設備保守点検、夜間及び年末年始・休館日の機誠警備等による安全管理をそれぞれ業務委託により行う。

イ. 体育館・庭球場・多目的広場に設置している器具備品等については、適時点検を実施し不良箇所の早期発見により安全確保及び使用に支障のないよう努める。

収 支 予 算 書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:千円)

科目	小科目	当年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部					
大科目 中科目	小科目				
1. 事業活動収入					
① 事業収入		(21,969)	(21,994)	(△ 25)	
1 事業収入		21,969	21,994	△ 25	
(7) 下関市彦島体育館事業収入		21,217	20,604	613	
管理費収入 注3)		752	1,390	△ 638	
事業活動収入計		21,969	21,994	△ 25	
2. 事業活動支出					
① 事業費支出		(21,217)	(20,604)	(613)	
1 事業費支出		21,217	20,604	613	
(7) 下関市彦島体育館事業費		21,217	20,604	613	
	2 給料	7,904	7,442	462	
	3 手当	3,533	3,528	5	
	4 共済費	1,790	1,743	47	
	5 退職給付費用	398	72	326	
	8 旅費	47	56	△ 9	
	11 消耗品費	84	137	△ 53	
	14 印刷製本費	46	84	△ 38	
	15 光熱水費	4,505	4,431	74	
	16 修繕料	1,000	1,000	0	
	18 通信運搬費	139	138	1	
	21 保険料	108	105	3	
	22 委託料	813	1,044	△ 231	
	23 使用料及び賃借料	147	179	△ 32	
	24 原材料費	16	-	16	
	27 公課費	687	645	42	
② 管理費支出		(752)	(1,390)	(△ 638)	
1 管理費支出		752	1,390	△ 638	
(1) 本社費 注3)		752	1,390	△ 638	
事業活動支出計		21,969	21,994	△ 25	
事業活動収支差額		0	0	0	
II 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
投資活動収入計					
2. 投資活動支出					
投資活動支出計					
投資活動収支差額					
III 財務活動収支の部					
1. 財務活動収入					
財務活動収入計					
2. 財務活動支出					
財務活動支出計					
財務活動収支差額					
IV その他					
1. 予備費支出					
予備費支出計					
当期収支差額		0	0	0	
当期収入合計		21,969	21,994	△ 25	
当期支出合計		21,969	21,994	△ 25	
前期繰越収支差額					
前期繰越収支差額					
次期繰越収支差額					

注1) これは、新公益法人会計基準に基づき作成された予算書で、決算における収支計算書に対応するものです。

注2) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注3) 管理費の収支は本社費において執行している。

注4) 予算計上のないものについては、『-』表示している。

8. 下関市立美術館

1. 事業計画書

(1) 職員構成

職員4名 嘱託職員1名をもって業務を行う。

(2) 営業

ア. 開館時間

9:30～17:00 (入館は、16:30まで)

イ. 休館日

月曜日

1月1日から同月4日まで及び12月28日から同月31日まで

下関市教育委員会が認めた臨時休館日

(3) 業務

ア. 観覧料の徴収事務、美術館入館者への受付案内、館内展示品の監視、図録の販売及び図録売払代金徴収事務等の業務を行う。

イ. 公金及び観覧券の厳正なる管理に努める。

ウ. 接遇については、入館者に対して不快感を与えることのないよう特段の注意を払い、状況に応じた適切な対応に努める。

エ. 展示物の知識を深め、適切な説明および対応が出来るよう努める。

オ. 美術館との連携を図り、各種展覧会に応じた人員配置を行い、円滑に業務を遂行する。

カ. 受託業務範囲内において、巡回点検等を実施し、人身事故、火災・盗難等防止のための監視体制を強化するとともに、入館者への安全確保の向上に努める。

キ. 美術館が実施する消火訓練等に協力し、非常時の対応確認を行い、災害に備えるように努める。

ク. 職員の資質向上のため、各関係機関が開催する接遇研修等に参加し、業務に反映させるよう努める。

ケ. 事故や災害が発生した場合、美術館館長の指示のもと、各職員が行動する体制を作る。

収 支 予 算 書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:千円)

科目		当年予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部					
大科目 中科目	小科目				
1. 事業活動収入					
① 事業収入		(21,014)	(22,595)	(△ 1,581)	
1 事業収入		21,014	22,595	△ 1,581	
(8) 下関市立美術館事業収入		19,451	20,980	△ 1,529	
管理費収入 注3)		1,563	1,615	△ 52	
事業活動収入計		21,014	22,595	△ 1,581	
2. 事業活動支出					
① 事業費支出		(19,451)	(20,980)	(△ 1,529)	
1 事業費支出		19,451	20,980	△ 1,529	
(8) 下関市立美術館事業費		19,451	20,980	△ 1,529	
	1 報酬	1,590	1,547	43	
	2 給料	10,539	9,922	617	
	3 手当	3,456	5,146	△ 1,690	
	4 共済費	2,674	2,625	49	
	5 退職給付費用	-	496	△ 496	
	8 旅費	20	36	△ 16	
	11 消耗品費	50	56	△ 6	
	14 印刷製本費	-	12	△ 12	
	18 通信運搬費	79	78	1	
	20 手数料	104	14	90	
	23 使用料及び賃借料	26	61	△ 35	
	27 公課費	913	987	△ 74	
② 管理費支出		(1,563)	(1,615)	(△ 52)	
1 管理費支出		1,563	1,615	△ 52	
(1) 本社費 注3)		1,563	1,615	△ 52	
事業活動支出計		21,014	22,595	△ 1,581	
事業活動収支差額		0	0	0	
II 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
投資活動収入計					
2. 投資活動支出					
投資活動支出計					
投資活動収支差額					
III 財務活動収支の部					
1. 財務活動収入					
財務活動収入計					
2. 財務活動支出					
財務活動支出計					
財務活動収支差額					
IV その他					
1. 予備費支出					
予備費支出計					
当期収支差額		0	0	0	
当期収入合計		21,014	22,595	△ 1,581	
当期支出合計		21,014	22,595	△ 1,581	
前期繰越収支差額					
前期繰越収支差額					
次期繰越収支差額					

注1) これは、新公益法人会計基準に基づき作成された予算書で、決算における収支計算書に対応するものです。

注2) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注3) 管理費の収支は本社費において執行している。

注4) 予算計上のないものについては、『-』表示している。

9. 下関市勤労者総合福祉センター

1. 事業計画書

(1) 職員構成

職員3名及び嘱託職員1名をもって管理運営を行う。

(2) 営業

ア. 開館時間

平日 9:00 ~ 22:00

日曜日 9:00 ~ 17:00

イ. 休館日

祝日及び12月29日から翌年1月3日まで

(3) 管理運営

ア. 設置目的「勤労者の福祉の充実、及び勤労意欲の向上を図る。」達成のため、最少の経費で最大の効果をあげるように効率的な運営に努め、経費削減可能な方策等を考案し、下関市と連携して業務の遂行に努める。

イ. 勤労者の福祉の充実、及び勤労意欲の向上を図るため、会議室及びアリーナ（体育館）等活動の場を提供する。

ウ. 利用者増員に向けて利用者のニーズに対応した講座を教養文化講座から7講座・健康スポーツ講座から6講座、計13講座開講する。

エ. 勤労者の福祉の充実及び勤労意欲の向上、市民の余暇の充実を図り、施設の周知及び利用者増員を目的とした1日体験講座を適時開講する。

オ. 適時利用者へのアンケートを行ない、下関市に報告するとともに、施設の改善に努める。

カ. 地域交流企画として、長府地区の公立幼稚園・保育園に協力依頼をし、園児が作品を通じ親への感謝の気持ちを育む場を提供し、施設のPRと利用者増員を図ることを目的とした「大好きパパ・ママ」似顔絵展を開催する。

キ. 長府扇町安全協議会の会員になることにより、地域との交流を図り、定期総会・長府企業フェスタ・名刺交歓会等に参加し、施設の宣伝を実施することで、利用者増員に努める。

ク. 周辺企業を訪問し、施設の紹介やチラシの社内回覧をお願いする。

ケ. ロビーを展示スペースとし、利用者へ情報を提供する。

コ. 文化講座発表の場としてロビー展を開催し、受講者増員に努める。

サ. 安全な施設維持のため施設内及び周辺の巡視点検を行い、危険要因を排除し、人身事故、火災盗難等の防止のための安全確保に努める。

シ. 消防署と連携を図り、定期的に消火訓練や避難訓練を実施する。

ス. 職員の資質向上のため、施設内でのミーティング実施、施設間の連携で知識の習得や技術の向上に努める。また、接遇研修等の開催や各種研修会にも参加する。

セ. 事故や災害が発生した場合、責任者の指示のもと緊急対応マニュアルにより応急処置等行う。

(4) 設備管理

ア. 定期清掃、機械警備、冷暖房設備保守点検、浄化槽維持管理、自動扉開閉装置保守点検、消防用設備保守点検を、それぞれ業務委託により行う。

イ. 施設の備品等について、適時状況点検を実施し、利用者の安全確保及び使用に支障のないように努める。

収 支 予 算 書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:千円)

科目	小科目	当年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部					
大科目 中科目	小科目				
1. 事業活動収入					
① 事業収入		(25,239)	(25,471)	(△ 232)	
1 事業収入		25,239	25,471	△ 232	
(9) 下関市勤労者総合福祉センター事業収入		23,987	23,618	369	
管理費収入 注3)		1,252	1,853	△ 601	
事業活動収入計		25,239	25,471	△ 232	
2. 事業活動支出					
① 事業費支出		(23,987)	(23,618)	(369)	
1 事業費支出		23,987	23,618	369	
(9) 下関市勤労者総合福祉センター事業費		23,987	23,618	369	
1 報酬		1,590	1,590	0	
2 給料		7,904	7,442	462	
3 手当		3,724	3,689	35	
4 共済費		2,077	2,029	48	
5 退職給付費用		398	372	26	
8 旅費		81	81	0	
11 消耗品費		199	199	0	
12 燃料費		5	5	0	
14 印刷製本費		46	18	28	
15 光熱水費		3,144	3,245	△ 101	
16 修繕料		190	190	0	
18 通信運搬費		148	129	19	
19 広告料		13	16	△ 3	
20 手数料		12	9	3	
21 保険料		12	51	△ 39	
22 委託料		3,453	3,555	△ 102	
23 使用料及び賃借料		154	189	△ 35	
25 行事費		35	35	0	
26 負担金		17	17	0	
27 公課費		785	757	28	
② 管理費支出		(1,252)	(1,853)	(△ 601)	
1 管理費支出		1,252	1,853	△ 601	
(1) 本社費 注3)		1,252	1,853	△ 601	
事業活動支出計		25,239	25,471	△ 232	
事業活動収支差額		0	0	0	
II 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
投資活動収入計					
2. 投資活動支出					
投資活動支出計					
投資活動収支差額					
III 財務活動収支の部					
1. 財務活動収入					
財務活動収入計					
2. 財務活動支出					
財務活動支出計					
財務活動収支差額					
IV その他					
1. 予備費支出					
予備費支出計					
当期収支差額		0	0	0	
当期収入合計		25,239	25,471	△ 232	
当期支出合計		25,239	25,471	△ 232	
前期繰越収支差額					
前期繰越収支差額					
次期繰越収支差額					

注1) これは、新公益法人会計基準に基づき作成された予算書で、決算における収支計算書に対応するものです。

注2) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注3) 管理費の収支は本社費において執行している。

注4) 予算計上のないものについては、『-』表示している。

10. 長府庭園

1. 事業計画書

(1) 職員構成

職員3名をもって管理運営を行う。

(2) 営業

ア. 開園時間

9:00～17:00

イ. 休業日

12月28日から翌年1月4日まで

(3) 管理運営

ア. 公共の施設である庭園の設置目的と指定管理者の意義を認識し、施設利用者等に対し安心安全の確保・サービスの提供及び仕事の効率を向上させることに努める。

イ. 来園者に対して感謝の気持ちでお迎えし、ゆったりとした空間の中で、四季折々の木々や花々の美しさを感じ、楽しんで頂けるように努める。

ウ. 書院及び茶室を有効に活用して頂けるように施設のPRに努める。

エ. 蔵は年間を通じて市民ギャラリー等としてふさわしいものを誘致し、来園者増を図る。

オ. 旅客幹旋業者と幹旋契約を締結することにより、更なる観光客誘致に努める。

カ. 常に地域との連携を図り、自主企画の宣伝及び施設のPRを続けると共に下関市が主催する行事や地域行事等への参加、協力を積極的に努める。

キ. 「孫文蓮」の開花に伴い、観賞会・早朝開園を実施、古布あそび・ひな飾り展等の企画も実施し、下関市の広報誌、報道関係等に情報提供することで、市民や周辺地域の方々への周知徹底を図り、来園者の増員に努める。

ク. 施設の安全維持のため施設内の巡視点検を行い、危険要因を排除し、人身事故、火災、盗難防止の為の安全確保に努める。

ケ. 事故や災害が発生した場合、責任者の指示のもと緊急対応マニュアルにより応急処置等を行う。

コ. 職員の資質向上のため、施設内でもミーティングを実施し、施設間の連携で知識の習得や、技術の向上に努める。接遇研修等の開催や各種研修会等にも参加いたしたい。

サ. 下関市が「しものせきエコマネジメントプラン」に基づく環境方針を制定していることを考慮し、省エネルギー、省資源及び廃棄物減量などの環境への負荷低減を図るよう、職員は基よりお客様、第三者委託業者にも指導の徹底を図る。

(4) 設備管理

ア. 日常清掃及び環境整備、中央監視装置保守や夜間機械警備の安全管理、また、庭園内の美しい景観を保つ為の維持管理を業務委託により行う。

収 支 予 算 書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:千円)

科目	小科目	当年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部					
大科目 中科目					
1. 事業活動収入					
① 事業収入		(37,694)	(37,955)	(△ 261)	
1 事業収入		37,694	37,955	△ 261	
(10) 長府庭園事業収入		35,522	35,312	210	
管理費収入 注3)		2,172	2,643	△ 471	
事業活動収入計		37,694	37,955	△ 261	
2. 事業活動支出					
① 事業費支出		(35,522)	(35,312)	(210)	
1 事業費支出		35,522	35,312	210	
(10) 長府庭園事業費		35,522	35,312	210	
	2 給料	7,904	7,442	462	
	3 手当	3,717	3,710	7	
	4 共済費	1,790	1,743	47	
	5 退職給付費用	398	372	26	
	8 旅費	31	31	0	
	11 消耗品費	220	234	△ 14	
	14 印刷製本費	510	505	5	
	15 光熱水費	2,987	3,014	△ 27	
	16 修繕料	250	250	0	
	18 通信運搬費	151	152	△ 1	
	19 広告料	32	37	△ 5	
	20 手数料	44	44	0	
	21 保険料	6	237	△ 231	
	22 委託料	16,430	16,496	△ 66	
	23 使用料及び賃借料	281	316	△ 35	
	24 原材料費	80	53	27	
	27 公課費	691	676	15	
② 管理費支出		(2,172)	(2,643)	(△ 471)	
1 管理費支出		2,172	2,643	△ 471	
(1) 本社費 注3)		2,172	2,643	△ 471	
事業活動支出計		37,694	37,955	△ 261	
事業活動収支差額		0	0	0	
II 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
投資活動収入計					
2. 投資活動支出					
投資活動支出計					
投資活動収支差額					
III 財務活動収支の部					
1. 財務活動収入					
財務活動収入計					
2. 財務活動支出					
財務活動支出計					
財務活動収支差額					
IV その他					
1. 予備費支出					
予備費支出計					
当期収支差額		0	0	0	
当期収入合計		37,694	37,955	△ 261	
当期支出合計		37,694	37,955	△ 261	
前期繰越収支差額					
前期繰越収支差額					
次期繰越収支差額					

注1) これは、新公益法人会計基準に基づき作成された予算書で、決算における収支計算書に対応するものです。
 注2) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。
 注3) 管理費の収支は本社費において執行している。
 注4) 予算計上のないものについては、『-』表示している。

1 1. 下関市ふれあい健康ランド

1. 事業計画書

(1) 職員構成

職員10名、嘱託職員1名及び日々雇用職員（土・日・祝日その他季節雇用）をもって管理運営を行う。

(2) 営業

ア. 開場時間

10:00～19:00

イ. 休場日

水曜日（水曜日が祝日の場合は、翌日）

12月29日から翌年1月3日まで

(3) 管理運営

ア. 平成24年度から平成27年度まで指定管理者に指定された。施設の安全管理に万全を期するとともに、多種多様な企画を実施し施設の設置目的を達成する。

イ. 安全確保を最優先課題とし、人身事故を未然に防止するとともに、関係法令に基づいた施設管理を徹底して行うほか、緊急時における初期対応・関係機関への通報を適切かつ冷静に行う。

ウ. 幅広い世代の利用動機を高め、利用者の底辺拡大を目的とした水泳教室や親子がふれあえる運動教室、さらにニーズに対応した健康志向型の運動教室を年間を通じて実施するほか、下関市の承認を得て、夏休み期間中の休場日に臨時営業を行いサービスの向上を図る。

エ. 平等・公平な利用を確保するため、全ての利用者に等しく快適な施設環境を提供するとともに、運営に関する全ての情報は市報・市のホームページなど、多様な媒体を通じて広く発信する。

オ. 費用対効果を追求した経営を行い、プール監視に要する日々雇用職員は利用状況に応じて効率的に配置するほか、各職員が複数の業務を行う多機能化を図り、効率的な人員配置を行う。

カ. 快適な施設環境を確保するため、水質・空気環境など関係法令に定められた基準を高い水準で維持し、害虫駆除・清掃、スリッパ・マット類の定期的な消毒洗浄を行う。

キ. 個人情報の保護に関する法律及び下関市個人情報保護条例等、関係法令を遵守するとともに、一般に公開されていない情報の保護についても適正に管理する。

ク. 管理運営全般に関する意見交換・情報交換など下関市との密接な連携により、運営方針についての共通認識を持ち効率的・効果的な施設運営を図る。

ケ. 能力向上を目的とした内部研修や専門知識・技術の習得を目的とした外部研修を行うほか、避難誘導訓練・心肺蘇生などの救急救命訓練を行い、職員の資質向上を図る。

コ. トラブルを未然に防止するため、設備機器の不備や説明の不備など、あらゆる面から想定される発生要因を見出し、防止対策を講じる。

カ. 安全な施設維持のため施設内の巡視点検を行い、危険要因を排除し、人身事故、火災、盗難等の防止のための安全確保に努める。

(4) 設備管理

ア. 温水プール・浴場・建築物及び敷地の維持管理については、マニュアルに基づく日々の点検により適正に管理する。

イ. 高温水設備運転保守・法律に基づく検査業務など、専門的な知識・技術・器具等を必要とする業務については、専門業者に委託し、管理に万全を期する。

収 支 予 算 書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:千円)

科目	小科目	当年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部					
大科目 中科目	小科目				
1. 事業活動収入					
① 事業収入		(121,360)	(120,000)	(1,360)	
1 事業収入		121,360	120,000	1,360	
(11) 下関市ふれあい健康ランド事業収入		109,738	111,509	△ 1,771	
介護予防事業収入		360	-	360	
管理費収入 注3)		11,262	8,491	2,771	
事業活動収入計		121,360	120,000	1,360	
2. 事業活動支出					
① 事業費支出		(110,098)	(111,509)	(△ 1,411)	
1 事業費支出		110,098	111,509	△ 1,411	
(11) 下関市ふれあい健康ランド事業費		110,098	111,509	△ 1,411	
1 報酬		-	1,590	△ 1,590	
2 給料		28,981	27,284	1,697	
3 手当		13,500	13,496	4	
4 共済費		6,572	6,671	△ 99	
5 退職給付費用		1,459	1,364	95	
6 賃金		2,482	1,564	918	
8 旅費		307	258	49	
11 消耗品費		4,258	3,486	772	
12 燃料費		6	6	0	
14 印刷製本費		868	626	242	
15 光熱水費		23,739	25,397	△ 1,658	
16 修繕料		3,150	3,150	0	
18 通信運搬費		224	224	0	
20 手数料		1,767	2,405	△ 638	
21 保険料		440	815	△ 375	
22 委託料		18,784	20,003	△ 1,219	
23 使用料及び賃借料		665	332	333	
24 原材料費		44	44	0	
26 負担金		172	147	25	
27 公課費		2,680	2,647	33	
② 管理費支出		(11,262)	(8,491)	(2,771)	
1 管理費支出		11,262	8,491	2,771	
(1) 本社費 注3)		11,262	8,491	2,771	
事業活動支出計		121,360	120,000	1,360	
事業活動収支差額		0	0	0	
II 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
投資活動収入計					
2. 投資活動支出					
投資活動支出計					
投資活動収支差額					
III 財務活動収支の部					
1. 財務活動収入					
財務活動収入計					
2. 財務活動支出					
財務活動支出計					
財務活動収支差額					
IV その他					
1. 予備費支出					
予備費支出計					
当期収支差額		0	0	0	
当期収入合計		121,360	120,000	1,360	
当期支出合計		121,360	120,000	1,360	
前期繰越収支差額					
前期繰越収支差額					
次期繰越収支差額					

注1) これは、新公益法人会計基準に基づき作成された予算書で、決算における収支計算書に対応するものです。

注2) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注3) 管理費の収支は本社費において執行している。

注4) 予算計上のないものについては、『-』表示している。

1 2. 長府毛利邸

1. 事業計画書

(1) 職員構成

職員 3 名・嘱託職員 1 名をもって管理運営を行う。

(2) 営業

ア. 利用時間 9:00~17:00

イ. 休業日 12月28日から翌年1月4日まで

(3) 管理運営

ア. 下関市の管理下にある事業所として規約を遵守し、正しい業務の遂行、効率的な運営、環境への負担軽減、個人情報取り扱い等、下関市と連携し適正に行っていく。また、委託・修繕・物品購入業務において入札等の競争原理により低廉価格の執行の取り組み、および空調・熱源・照明機器等の節減管理を徹底し、効率的な業務運営を行う。

イ. 白壁に囲まれた邸内の、杉苔を中心にした庭園の造形と四季折々の趣が味わえるよう、日常の清掃整備はもとより樹木の維持管理に努める。

ウ. 武家屋敷造りの母屋の豊かな空間と静けさを生かし、部屋の各所に季節の山野草を生け、掃く・拭く・磨くの毎日の清掃と併せ、労力をいとわないおもてなしを心掛け、お客様が癒しのひと時を過ごせるよう気持ちのよい接遇と清潔な場所を柱に、人が人を呼ぶ施設としてリピーターの増員を図る。

エ. 施設の設置目的に基づき、母屋と庭園のよさを相乗させた自主企画を20件実施する。

地元のお客様の楽しみになっており、交流を一層深める恒例行事の開催、和の伝統文化にふれる作品展、教養文化を高め趣味を深める講座を開催し、施設のさらなる周知および集客・増員に努める。

オ. 下関市の広報紙やそれに伴う媒体、長府各戸への回覧板、マスコミ関係、フリーペーパー・雑誌等へ積極的に情報を発信し、新鮮な話題の提供と施設の宣伝効果をあげる。また、下関市の観光ホームページやJR各駅の毛利邸専用掲示コーナー、観光関連施設への情報提供による連携により、地域はもとより観光客の誘致に努め幅広い周知につなげる。

カ. 下関市が主催するイベントの積極的な協力、観光業者が企画するキャンペーンへ特典による参加をし、下関市の観光スポットとしてアピールすることで、さらなる観光客の誘致に努める。

キ. 2カ所に用意してある感想ノートへの記入や催し開催時にお客様へのアンケートを実施し、要望や意見の把握に努め、可能な限り検討し、施設のあり方や職員の姿勢に反映させる。また、接遇研修や各種研修に積極的に参加し、職員の資質の向上や自己啓発を高め、情報を共有し同じ目標をもつことにより、さらなるサービス向上に努める。

ク. お客様より要請があれば、職員が母屋の説明・案内を行う。中学校の校外学習での質問対応やインターンシップの受け入れ等は積極的に行い、歴史的・文化的価値のある母屋や日本文化を、次の世代へ伝える役割を認識する。

ケ. 職員による邸内の巡回を度々行い異常の有無をチェックし、常にお客様の安全確保に努める。消防署と連携を図り、定期的に消火設備を点検し災害に備える。万一災害や事故が発生した場合、緊急対応マニュアルに沿った連絡をすばやく行い、報告・連絡・確認を怠りなく実施する。

(4) 設備管理

ア. 庭園の樹木等の維持管理、環境整備、水景設備の保守、消防設備保守、夜間及び休業日の機械警備の安全管理を、それぞれ業務委託とする。

イ. 委託業者や工事施行業者への指導・監督体制を強化し、業務終了の都度、報告書の提出を義務付け、管理に万全を期す。

収 支 予 算 書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:千円)

科目		当年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部					
大科目 中科目	小科目				
1. 事業活動収入					
① 事業収入		(26,712)	(27,012)	(△ 300)	
1 事業収入		26,712	27,012	△ 300	
(12) 長府毛利邸事業収入		25,342	25,095	247	
管理費収入 注3)		1,370	1,917	△ 547	
事業活動収入計		26,712	27,012	△ 300	
2. 事業活動支出					
① 事業費支出		(25,342)	(25,095)	(247)	
1 事業費支出		25,342	25,095	247	
(12) 長府毛利邸事業費		25,342	25,095	247	
1 報酬		1,590	1,590	0	
2 給料		7,904	7,442	462	
3 手当		3,798	3,739	59	
4 共済費		2,062	2,000	62	
5 退職給付費用		398	372	26	
8 旅費		73	76	△ 3	
11 消耗品費		430	459	△ 29	
14 印刷製本費		491	590	△ 99	
15 光熱水費		1,025	1,167	△ 142	
16 修繕料		302	170	132	
18 通信運搬費		178	155	23	
19 広告料		69	53	16	
20 手数料		34	52	△ 18	
21 保険料		10	6	4	
22 委託料		5,891	6,085	△ 194	
23 使用料及び賃借料		279	361	△ 82	
24 原材料費		20	20	0	
27 公課費		788	758	30	
② 管理費支出		(1,370)	(1,917)	(△ 547)	
1 管理費支出		1,370	1,917	△ 547	
(1) 本社費 注3)		1,370	1,917	△ 547	
事業活動支出計		26,712	27,012	△ 300	
事業活動収支差額		0	0	0	
II 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
投資活動収入計					
2. 投資活動支出					
投資活動支出計					
投資活動収支差額					
III 財務活動収支の部					
1. 財務活動収入					
財務活動収入計					
2. 財務活動支出					
財務活動支出計					
財務活動収支差額					
IV その他					
1. 予備費支出					
予備費支出計					
当期収支差額		0	0	0	
当期収入合計		26,712	27,012	△ 300	
当期支出合計		26,712	27,012	△ 300	
前期繰越収支差額					
前期繰越収支差額					
次期繰越収支差額					

注1) これは、新公益法人会計基準に基づき作成された予算書で、決算における収支計算書に対応するものです。

注2) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注3) 管理費の収支は本社費において執行している。

注4) 予算計上のないものについては、『-』表示している。

1 3. 粗大ごみ等受付センター

1. 事業計画書

(1) 職員構成

職員 9 名、嘱託職員 2 名をもって業務を行う。

(2) 営業

ア. 業務時間

月曜日 8 : 15 ~ 19 : 00

火～金曜日 8 : 15 ~ 17 : 00

イ. 電話受付時間

月曜日 9 : 00 ~ 19 : 00

火～金曜日 9 : 00 ~ 16 : 00

ウ. 休業日

土曜日、日曜日、祝日及び 12 月 29 日から翌年 1 月 3 日まで

(3) 業務

ア. 下関市の各家庭から排出される粗大ごみ等の収集申込みを電話及びインターネットにより受付し、受付伝票及び収集地図を作成した後、これを的確に下関市（クリーン推進課）へ回付する。

イ. 粗大ごみ等排出に関する規則の変更に対応し、下関市（クリーン推進課）からの指示に従い、お申込みのお客様へ対する変更後の規則の周知活動に貢献する。

ウ. 受付時間のオペレータは原則 8 名配置とし、その他の職員により地図作成業務、受付票整理・チェック及び集計業務に従事する。

※月曜日午後 5 時から午後 7 時までのオペレータについては、通常期 4 名、繁忙期 8 名を配置する。

エ. お客様との疎通を的確に行い、下関市（クリーン推進課）と連携することで、相違遺漏の無い業務に努める。また、お客様からご意見・ご要望があった場合、その内容を下関市へ報告するとともに、可能な限り市民サービスの向上に反映するように努める。

オ. 電話応対における検定試験の受験及び各種研修会へ積極的に参加することで、高度な実践力・指導力をもつオペレータを育成することに努める。

カ. 職場内研修（OJT）やスタッフミーティングを積極的に行い、職員の電話応対技術向上及び受付業務における共通認識の向上に努める。

キ. 電話応対チェックリストを使用し、数値化した自己分析結果をもとに、自身の電話応対における課題を明確化するとともに、電話応対技術の水準維持及び向上に努める。

ク. 全オペレータのデスクに卓上鏡を設置し、「笑声」を実践した、お客様から好感をもっていただける質の高い電話応対に努める。

※「笑声」とは表情の見えない電話応対において重要な技術。顔の表情を「笑顔」で発声することにより、明るく聞き心地のよい声で電話応対を実践すること。

ケ. 職員 1 人 1 人が粗大ごみ等受付センターの代表であるという共通意識のもと、お客様に対し責任をもった上質のサービスに努める。

コ. 個人情報取扱特記事項を順守し、個人情報保護の重要性を認識するとともに、個人の権利利益を害することのないよう努める。

サ. しものせきエコマネジメントプランに基づき、環境に配慮した業務及び活動、また職員の自己啓発に努める。

（環境に配慮した業務、活動、自己啓発）

- ・環境ラベリング制度対象製品、リサイクル可能製品の購入に努める。
- ・車両からの排出ガス低減のため、ノーマイカー及びエコドライブの励行に努める。
- ・下関市の実施する環境美化活動（しものせき美化美化大作戦等）に積極的に参加する。
- ・職員の自己啓発を目的として、環境配慮に対する知識及び認識を深める学習に努め、環境配慮意識の高い職員を育成する。

収 支 予 算 書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:千円)

科目	小科目	当年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部					
大科目 中科目	小科目				
1. 事業活動収入					
① 事業収入		(47,703)	(51,294)	(△ 3,591)	
1 事業収入		47,703	51,294	△ 3,591	
(13) 粗大ごみ等受付センター事業収入		44,912	47,716	△ 2,804	
管理費収入 注3)		2,791	3,578	△ 787	
事業活動収入計		47,703	51,294	△ 3,591	
2. 事業活動支出					
① 事業費支出		(44,912)	(47,716)	(△ 2,804)	
1 事業費支出		44,912	47,716	△ 2,804	
(13) 粗大ごみ等受付センター事業費		44,912	47,716	△ 2,804	
1 報酬		3,180	3,094	86	
2 給料		23,711	22,324	1,387	
3 手当		8,987	11,679	△ 2,692	
4 共済費		5,914	5,757	157	
5 退職給付費用		-	1,116	△ 1,116	
6 賃金		-	50	△ 50	
8 旅費		28	34	△ 6	
11 消耗品費		1,002	1,406	△ 404	
26 負担金		-	52	△ 52	
27 公課費		2,090	2,204	△ 114	
② 管理費支出		(2,791)	(3,578)	(△ 787)	
1 管理費支出		2,791	3,578	△ 787	
(1) 本社費 注3)		2,791	3,578	△ 787	
事業活動支出計		47,703	51,294	△ 3,591	
事業活動収支差額		0	0	0	
II 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
投資活動収入計					
2. 投資活動支出					
投資活動支出計					
投資活動収支差額					
III 財務活動収支の部					
1. 財務活動収入					
財務活動収入計					
2. 財務活動支出					
財務活動支出計					
財務活動収支差額					
IV その他					
1. 予備費支出					
予備費支出計					
当期収支差額		0	0	0	
当期収入合計		47,703	51,294	△ 3,591	
当期支出合計		47,703	51,294	△ 3,591	
前期繰越収支差額					
前期繰越収支差額					
次期繰越収支差額					

注1) これは、新公益法人会計基準に基づき作成された予算書で、決算における収支計算書に対応するものです。

注2) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注3) 管理費の収支は本社費において執行している。

注4) 予算計上のないものについては、『-』表示している。

1 4. 下関市菊川温泉プール

1. 事業計画書

菊川温泉プール共同事業体として財団法人菊川建設労働者福祉センターと協定締結のうえ、下関市と連携を図り、平成24年4月から5月までの開業準備期間は、リーフレットの作成や設備の操作確認、職員研修等の開業準備業務を行う。

また、平成24年6月1日からは、下関市より指定管理者として指定を受け、管理運営を行う。

(1) 職員構成

職員1名、嘱託職員1名を配置し、また、平成24年6月1日の営業開始以後は、日々雇用職員（繁忙日等により人数変動）も含め管理業務を行う。

(2) 営業

ア. 開場時間

6月から10月まで 10:00～20:00

11月から3月まで 13:00～20:00

イ. 休館日

12月28日から翌年1月4日まで

(3) 管理運営

ア. 施設の安全管理に万全を期するとともに、施設の設置目的を達成する。

イ. 安全確保を最優先課題とし、人身事故を未然に防止するとともに、緊急時における初期対応・関係機関への通報を適切かつ冷静に行う。

ウ. 下関市体育施設の設置に関する条例をはじめ、関係法令に基づいた施設管理を徹底して行う。

エ. 幅広い世代の利用を高め、利用者の底辺拡大を目的とした水泳教室を実施するなど、施設の利用増進に努める。

オ. 平等・公平な利用を確保するため、全ての利用者に等しく快適な施設環境を提供するとともに、施設を安全に利用頂けるよう注意・警告事項について看板類を作成し、利用者に説明のうえ理解いただけるよう努める。

カ. 各職員が複数の業務を行う多機能化を図り効率的な人員配置を行うとともに光熱水費消耗品類についてはサービスの低下とまらない範囲において徹底した経費縮減を図る等、費用対効果を追求した経営に努める。

キ. 快適な施設環境を確保するため、水質など関係法令に定められた基準を高い水準で維持することはもとより、快適な室温・水温の管理、更衣室の清掃を行うなど、常に快適かつ衛生的な環境の確保に努める。

ク. 個人情報の保護に関する法律及び下関市個人情報保護条例等、関係法令を遵守するとともに、一般に公開されていない情報の保護についても適正に管理する。

ケ. 管理運営全般に関する意見交換・情報交換など下関市との密接な連携により、運営方針についての共通認識を持ち効率的・効果的な施設運営を図る。

コ. トラブルを未然に防止するため、設備機器の不備や説明の不備など、あらゆる面から想定される発生要因を見出し、防止対策を講じる。

サ. 安全な施設維持のため施設内の巡視点検を行い、危険要因を排除し、人身事故、火災、盗難等の防止のための安全確保に努める。

(4) 設備管理

ア. 温泉プール・建築物及び敷地の維持管理については、マニュアルに基づく日々の点検により適正に管理する。

イ. 法律に基づく検査業務や特殊な設備の保守点検など、専門的な知識・技術・器具を必要とする業務については、専門業者に委託し、管理に万全を期する。

収 支 予 算 書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:千円)

科目		当年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部					
大科目 中科目	小科目				
1. 事業活動収入					
① 事業収入		(11,418)		(11,418)	
1 事業収入		11,418		11,418	
(14) 下関市菊川温泉プール事業収入		11,408		11,408	
管理費収入 注3)		10		10	
事業活動収入計		11,418		11,418	
2. 事業活動支出					
① 事業費支出		(11,408)		(11,408)	
1 事業費支出		11,408		11,408	
(14) 下関市菊川温泉プール事業費		11,408		11,408	
	1 報酬	1,513		1,513	
	2 給料	2,668		2,668	
	3 手当	1,084		1,084	
	4 共済費	752		752	
	5 退職給付費用	137		137	
	6 賃金	3,380		3,380	
	8 旅費	129		129	
	11 消耗品費	1,132		1,132	
	16 修繕料	50		50	
	21 保険料	36		36	
	24 原材料費	50		50	
	27 公課費	477		477	
② 管理費支出		(10)		(10)	
1 管理費支出		10		10	
(1) 本社費 注3)		10		10	
事業活動支出計		11,418		11,418	
事業活動収支差額		0		0	
II 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
投資活動収入計					
2. 投資活動支出					
投資活動支出計					
投資活動収支差額					
III 財務活動収支の部					
1. 財務活動収入					
財務活動収入計					
2. 財務活動支出					
財務活動支出計					
財務活動収支差額					
IV その他					
1. 予備費支出					
予備費支出計					
当期収支差額		0		0	
当期収入合計		11,418		11,418	
当期支出合計		11,418		11,418	
前期繰越収支差額					
前期繰越収支差額					
次期繰越収支差額					

注1) これは、新公益法人会計基準に基づき作成された予算書で、決算における収支計算書に対応するものです。

注2) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注3) 管理費の収支は本社費において執行している。

注4) 予算計上のないものについては、『-』表示している。

15. 下関市スポーツセンター

1. 事業計画書

(1) 職員構成

職員1名、嘱託職員9名をもって業務を行う。

(2) 営業

ア. 事業所

(ア) 下関市体育館

(イ) 下関市宮下関庭球場

(ウ) 下関市弓道場

(エ) 下関市向洋グラウンド

(オ) 下関市フットサル場

イ. 営業時間（各事業所共通）

(ア) 平日及び土曜日 9:00～22:00

(イ) 日曜日及び祝日 9:00～17:00

(ウ) 休館日 12月28日から翌年1月4日まで

(3) 管理運営

ア. 下関市体育施設の設置目的や公共施設であることを十分に認識し、市民の福利向上及び地域のスポーツ振興に寄与するよう努める。

イ. 使用料の徴収事務、来場者への受付案内及び予約調整を行う。

ウ. 公金及び体育施設使用券の厳正なる管理に努める。

エ. 接遇について、利用者等に対して不快感を与えることのないよう特段の注意を払い状況に応じた適切な対応をするとともに、より多くの利用者に親しまれる施設となるよう努める。

オ. 下関市公共予約システムを活用していただくよう、利用者の利便性の向上のための普及に努める。

カ. 下関市や下関市体育協会との連携を図り、円滑に業務を遂行する。

キ. 受託業務範囲内において、巡回点検等を実施し、危険要因を排除し、人身事故、火災・盗難等防止のための監視体制を強化するとともに、利用者の安全確保の向上に努める。

ク. 職員の資質向上のため、AED取扱研修の開催や各関係機関が開催する接遇研修等に参加し、業務に反映させるよう努める。

ケ. 事故や災害が発生した場合、センター長の指示のもと、各職員が行動する体制を作る。

コ. 個人情報の保護に関する法律及び下関市個人情報保護条例等、関係法令を遵守するとともに一般に公開されていない情報の保護についても適正に管理する。

(4) 設備管理

施設について適時点検を行い、利用者の安全確保及び競技に支障がないよう努める。

収 支 予 算 書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:千円)

科目		当年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部					
大科目 中科目	小科目				
1. 事業活動収入					
① 事業収入		(27,985)		(27,985)	
1 事業収入		27,985		27,985	
(15) 下関市スポーツセンター事業収入		26,985		26,985	
管理費収入 注3)		1,000		1,000	
事業活動収入計		27,985		27,985	
2. 事業活動支出					
① 事業費支出		(26,985)		(26,985)	
1 事業費支出		26,985		26,985	
(15) 下関市スポーツセンター事業費		26,985		26,985	
1 報酬		15,830		15,830	
2 給料		2,867		2,867	
3 手当		3,356		3,356	
4 共済費		3,502		3,502	
5 退職給付費用		145		145	
27 公課費		1,285		1,285	
② 管理費支出		(1,000)		(1,000)	
1 管理費支出		1,000		1,000	
(1) 本社費 注3)		1,000		1,000	
事業活動支出計		27,985		27,985	
事業活動収支差額		0		0	
II 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
投資活動収入計					
2. 投資活動支出					
投資活動支出計					
投資活動収支差額					
III 財務活動収支の部					
1. 財務活動収入					
財務活動収入計					
2. 財務活動支出					
財務活動支出計					
財務活動収支差額					
IV その他					
1. 予備費支出					
予備費支出計					
当期収支差額		0		0	
当期収入合計		27,985		27,985	
当期支出合計		27,985		27,985	
前期繰越収支差額					
前期繰越収支差額					
次期繰越収支差額					

注1) これは、新公益法人会計基準に基づき作成された予算書で、決算における収支計算書に対応するものです。

注2) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注3) 管理費の収支は本社費において執行している。

注4) 予算計上のないものについては、『-』表示している。

平成24年度

特別会計

- 指定管理事業
下関市満珠荘特別会計

- 収益事業
売店特別会計
駐車場特別会計

- 福利厚生事業
福利厚生事業特別会計

下関市満珠荘特別会計

事業計画書

1. 職員構成

職員5名、嘱託職員2名及び日々雇用職員をもって管理業務を行う。

2. 営業

(1) 利用時間

開館時間 7:00～22:00

宿泊時間 チェックイン15:00から、チェックアウト翌日10:00まで

入浴時間 6:00～23:00

日帰入浴 9:00～22:00 (受付21:00まで)

※火曜日・水曜日 13:00～22:00 (受付21:00まで)

(2) 休館日

年中無休

3. 管理運営

(1) 年間6,760人の宿泊者獲得を目標とする。

(2) 宿泊企画商品等の提供、自主事業の実施等により、施設の目的を最も効率的、効果的に達成する。また、宿泊施設の管理ノウハウを活用した運営を行うとともに、新しいサービス提供によりリピーター利用率の向上に努めることとし、適正な管理運営を行う。

(3) 平等・公平な利用を確保するため、全ての利用者に等しく快適な施設環境を提供するとともに、運営に関する全ての情報は当施設や市のホームページ、市報など、多様な媒体を通じて広く発信する。

(4) 地元利用促進のため、公用車による送迎など利用しやすいサービスを実施、老人会・自治会・企業等の団体誘致に努める。

(5) 新規利用獲得に努める一方、サービスの提供によるリピーター確保のため、全ての利用者に対し一期一会の接遇に努め、客室環境の充実を図るとともにアンケートによるご意見・ご要望に対し迅速に対応する。

(6) 四季を通じて地元の食材を生かした魅力ある料理の開発、販売を行う。

(7) 機械設備・安全設備・施設内外の巡視点検を実施、危険要因の排除により人身事故、火災、盗難等の事故防止に努め、安心安全な施設を維持する。

(8) 電気、水道、ガス、消耗品等の使用を必要最低限とするよう全職員によるコスト管理を徹底し、経費節減に努める。

(9) 所轄消防署との連携を図り、消防法に基づいた避難・通報訓練を定期的実施、有事における万全を期する。

(10) 不測の事態が発生した場合は、緊急マニュアルに基づき速やかに対応し、必要な措置を適切に講じる。

(11) 個人情報の保護に関する法律及び下関市個人情報保護条例等、関係法令を遵守するとともに、一般に公開されていない情報の保護についても適正に管理する

(12) 管理運営全般に関する意見交換・情報交換など下関市との密接な連携により、運営方針についての共通認識を持ち効率的・効果的な施設運営を図る。

4. 設備管理

(1) 職員による機械設備の日常点検を行い、特殊な設備については専門業者による定期点検を実施する。また、異常の早期発見により機能保全に努める。

(2) 職員による飲料水・浴場水の日常管理を行なうほか、配管洗浄・貯水槽清掃・水質検等、必要な措置について専門業者により実施、適正な水質管理に万全を期する。

(3) 厨房の給排水配管及び空調設備等については特に留意し、適正な環境維持に努めることにより衛生管理に万全を期し食中毒等重大事故を防止する。

(4) 自動販売機等、設置機器の正常な機能保全に努める。

収 支 予 算 書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
大科目 中科目				
1. 事業活動収入				
① 事業収入	(90,506)	(9,218)	(81,288)	
1 満珠荘事業収益	90,506	9,218	81,288	
(1) 事業収益	-	1	△ 1	
1 下関市満珠荘開設準備事業収入	-	1	△ 1	
(2) 営業収益	90,506	9,217	81,289	
1 宿泊料収入	34,365	3,639	30,726	
2 入浴料収入	15,425	1,468	13,957	
3 食事料収入	34,721	3,555	31,166	
4 売店、自動販売機事業収入	5,995	555	5,440	
② 雑収入	(2)	(2)	(0)	
1 受取利息収入	1	1	0	
1 受取利息	1	1	0	
2 雑収入	1	1	0	
1 雑収入	1	1	0	
事業活動収入計	90,508	9,220	81,288	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出	(86,742)	(39,977)	(46,765)	
1 満珠荘事業費用	86,742	39,977	46,765	
(1) 営業費用	86,742	39,977	46,765	
1 報酬	3,530	486	3,044	嘱託職員2名・税理士報酬
2 給料	14,136	2,990	11,146	職員5名
3 手当	8,671	1,173	7,498	職員5名・嘱託職員2名諸手当
4 共済費	3,738	566	3,172	社会保険料等
5 退職給付費用	665	645	20	職員5名
6 賃金	5,458	2,624	2,834	
7 報償費	80	80	0	
8 旅費	506	112	394	管内旅費・業務連絡
11 消耗品費	514	2,409	△ 1,895	客室・浴場・清掃・事務用品
12 燃料費	183	16	167	
14 印刷製本費	579	904	△ 325	リーフレット・料金表・入浴券
15 光熱水費	16,867	1,800	15,067	電気・水道・ガス
16 修繕料	400	100	300	設備関係
18 通信運搬費	486	253	233	電話・インターネット
19 広告料	300	500	△ 200	
20 手数料	906	400	506	水質検査
21 保険料	131	475	△ 344	旅館賠償責任保険ほか
22 委託料	5,656	14,466	△ 8,810	厨房機器、換気・空調機設置ほか
23 使用料及び賃借料	5,511	1,650	3,861	フロントシステム・公用車ほか
24 原材料費	12,219	1,963	10,256	食材費
26 負担金	29	29	0	
27 公課費	2,588	252	2,336	法人税等
28 備品購入費	124	2,500	△ 2,376	
29 商品仕入	3,465	584	2,881	
30 予備費	-	3,000	△ 3,000	
事業活動支出計	86,742	39,977	46,765	
事業活動収支差額	3,766	△ 30,757	△ 26,991	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計				
2. 投資活動支出				
投資活動支出計				
投資活動収支差額				

収 支 予 算 書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
Ⅲ 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
① 借入金収入	-	(30,757)	(△ 30,757)	
1 売店特別会計借入金収入	-	30,757	△ 30,757	
1 売店特別会計借入金収入	-	30,757	△ 30,757	
財務活動収入計	-	30,757	△ 30,757	
2. 財務活動支出				
① 借入金返済支出	(3,766)		(3,766)	
1 売店特別会計借入金返済	3,766		3,766	
1 売店特別会計借入金返済	3,766		3,766	
財務活動支出計	3,766		3,766	
財務活動収支差額	3,766		3,766	
Ⅳ その他				
1. 予備費支出				
予備費支出計				
当期収支差額	0	0	0	
当期収入合計	90,508	39,977	50,531	
当期支出合計	90,508	39,977	50,531	
前期繰越収支差額	0	0	0	
前期繰越収支差額				
次期繰越収支差額	0	0	0	

注1) これは、新公益法人会計基準に基づき作成された予算書で、決算における収支計算書に対応するものです。

注2) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注3) 予算計上のないものについては、『-』表示している。

注4) 前年度とは、平成23年10月1日から平成24年3月31日までをいう。

売店特別会計

長府庭園売店

下関市ふれあい健康ランド売店

下関市菊川温泉プール売店

1. 事業計画書

(1) 職員構成

職員2名、嘱託職員1名をもって、独立採算で売店経営の健全な運営を行う。

(2) 管理運営

ア. 施設の良さを生かした対面販売を行い、お客様の購買意欲を高める。

イ. 施設の特徴にあった商品構成により、お客様の購買意欲を高める。

ウ. 周辺地域及び市の観光行政と連携を図り、積極的なPR活動に努める。

エ. 飲料水自動販売機（市内32カ所58台）の管理運営を行い、お客様へのサービス向上に努める。

オ. お客様のニーズの把握に努め、商品開発を行う。

カ. 売上金の管理については、安全かつ厳正を期するよう努める。

(3) 設備管理

ア. 売店2店舗においては、お客様の安全確保のため、店内レイアウトの変更等商品配置の見直しを図り、売り場の改善に努める。

収 支 予 算 書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部				
大科目 中科目				
1. 事業活動収入				
① 事業収入	(13,712)	(13,193)	(519)	
1 売店事業収益	13,712	13,193	519	
(1) 営業収益	13,712	13,193	519	
1 販売手数料収入	4,759	3,839	920	
2 手数料収入	5,991	7,174	△ 1,183	自動販売機手数料収入
3 遊戯機使用料収入	637	506	131	遊戯機使用料収入等
4 売店事業収入	623	746	△ 123	はず関連商品等販売
5 実費弁償金収入	1,702	928	774	自動販売機電気料
② 雑収入	(332)	(373)	(△ 41)	
1 受取利息収入	25	66	△ 41	
1 受取利息	25	66	△ 41	定期(20,000千円)・普通預金利息
2 雑収入	307	307	0	
1 雑収入	307	307	0	事務負担金等
事業活動収入計	14,044	13,566	478	
2. 事業活動支出				
① 事業費支出	(12,729)	(11,891)	(838)	
1 売店事業費用	12,729	11,891	838	
(1) 営業費用	12,729	11,891	838	
1 報酬	1,590	1,590	0	嘱託職員1名
2 給料	3,987	3,718	269	職員2名
3 手当	2,224	1,559	665	職員2名・嘱託職員1名諸手当
4 共済費	1,130	879	251	社会保険料等
5 退職給付費用	197	141	56	職員2名
8 旅費	126	122	4	管内旅費・業務連絡
14 印刷製本費	11	60	△ 49	シール、レジ袋等
15 光熱水費	1,559	1,671	△ 112	電気代
23 使用料及び賃借料	833	890	△ 57	土地、建物使用料
27 公課費	478	550	△ 72	消費税
28 商品仕入	594	711	△ 117	はず関連商品他
③ 管理費支出	(1,283)	(1,638)	(△ 355)	
1 管理費支出	1,283	1,638	△ 355	
(1) 本社費	1,283	1,638	△ 355	
1 報酬	420	420	0	税理士報酬
9 交際費	60	45	15	関係先との交際費
11 消耗品費	229	442	△ 213	事務用品他
16 修繕料	53	84	△ 31	店舗備品修理
18 通信運搬費	201	200	1	電話代・葉書・切手
20 手数料	40	60	△ 20	振込手数料等
21 保険料	30	25	5	店舗総合保険料
25 備品購入費	30	30	0	店舗備品
26 負担金	8	14	△ 6	下関商工会議所会費
27 公課費	71	268	△ 197	法人税等充当額
30 行事費	141	50	91	イベント用
事業活動支出計	14,012	13,529	483	
事業活動収支差額	32	37	△ 5	
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計				
2. 投資活動支出				
投資活動支出計				
投資活動収支差額				
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
① 貸付金収入	(3,766)		(3,766)	
1 満珠荘特別会計貸付金収入	3,766		3,766	
財務活動収入計	3,766		3,766	
財務活動収支差額	3,766		3,766	

収 支 予 算 書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:千円)

科目	当年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
2. 財務活動支出				
① 貸付金支出		(30,757)	(△ 30,757)	
1 満珠荘特別会計貸付金支出		30,757	△ 30,757	
1 満珠荘特別会計貸付金支出		30,757	△ 30,757	
財務活動支出計		30,757	△ 30,757	
財務活動収支差額	3,766	△ 30,757	△ 26,991	
IV その他				
1. 予備費支出				
予備費支出計				
当期収支差額	3,798	△ 30,720	△ 26,922	
当期収入合計	17,810	13,566	4,244	
当期支出合計	14,012	44,286	△ 30,274	
前期繰越収支差額	23,815	55,009	△ 31,194	前期繰越収支差額は22、21年度の
前期繰越収支差額	23,815	55,009	△ 31,194	決算額を計上。
次期繰越収支差額	27,613	24,289	3,324	

注1) これは、新公益法人会計基準に基づき作成された予算書で、決算における収支計算書に対応するものです。

注2) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注3) 予算計上のないものについては、『-』表示している。

駐車場特別会計

関彦橋駐車場
筋川駐車場
迫町駐車場

事業計画書

1. 職員構成

職員1名及び嘱託職員1名を配置し、管理業務を行う。

2. 利用時間 0:00~24:00

3. 利用台数

- (1) 関彦橋駐車場 70台 (第1:35台、第2:11台、第3:24台)
- (2) 筋川駐車場 26台
- (3) 迫町駐車場 53台

4. 業務内容

- (1) 使用料の徴収事務、利用者への受付案内を行う。
- (2) 使用料の取扱については、安全かつ厳正なる管理に努める。
- (3) 接遇については、利用者等に対して不快感を与えることのないよう特段の注意を払い、状況に応じた適切な対応に努める。
- (4) 事故や災害等が発生した場合、速やかに対応する。
- (5) 個人情報の保護に関する法律及び下関市個人情報保護条例等、関係法令を遵守するとともに一般に公開されていない情報の保護についても適正に管理する。
- (6) 駐車場に利用促進案内等を掲示し、利用台数の増加を図る。

5. 設備管理

職員による定期的な巡回点検等を行い、危険要因を排除し、入出庫の円滑化や利用者の安全確保及び利便性の向上に努める。

また、場内清掃や植栽の剪定等を行い、美観の維持にも努める。

収 支 予 算 書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:千円)

科目		当年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部					
大科目 中科目					
1. 事業活動収入					
① 事業収入		(6,024)		(6,024)	
1 駐車場事業収益		6,024		6,024	
(1) 営業収益		6,024		6,024	
1 駐車料金収入		6,024		6,024	
② 雑収入		(2)		(2)	
1 受取利息収入		1		1	
1 受取利息		1		1	
2 雑収入		1		1	
1 雑収入		1		1	
事業活動収入計		6,026		6,026	
2. 事業活動支出					
① 事業費支出		(6,000)		(6,000)	
1 事業費支出		6,000		6,000	
(1) 駐車場事業費		6,000		6,000	
1 報酬		1,590		1,590	嘱託職員1名
2 給料		1,473		1,473	職員1名
3 手当		126		126	嘱託職員1名諸手当
4 共済費		272		272	社会保険料等
11 消耗品費		196		196	清掃・事務用品
12 燃料費		18		18	
14 印刷製本費		27		27	納入通知書
15 光熱水費		341		341	電気料
16 修繕料		483		483	照明設備関係
18 通信運搬費		83		83	切手
22 委託料		394		394	剪定・草刈委託業務
23 使用料及び賃借料		823		823	
27 公課費		174		174	
事業活動支出計		6,000		6,000	
事業活動収支差額		26		26	
II 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
投資活動収入計					
2. 投資活動支出					
投資活動支出計					
投資活動収支差額					
III 財務活動収支の部					
1. 財務活動収入					
財務活動収入計					
2. 財務活動支出					
財務活動支出計					
財務活動収支差額					
IV その他					
1. 予備費支出					
予備費支出計					
当期収支差額		26		26	
当期収入合計		6,026		6,026	
当期支出合計		6,000		6,000	
前期繰越収支差額					
前期繰越収支差額					
次期繰越収支差額		26		26	

注1) これは、新公益法人会計基準に基づき作成された予算書で、決算における収支計算書に対応するものです。

注2) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注3) 予算計上のないものについては、『-』表示している。

福利厚生事業特別会計

1. 事業計画

(1) 目的

「高年齢者多数雇用奨励金」を財源とした事業で、職員等の親睦・融和及び福利厚生を増進を図ることを目的とする。

(2) 管理体制

この会計は事務局総務課にて取り扱う。

2. 実施事業

(1) 職員等の健康増進に必要と認める事業への助成。

(2) 市が主催するマラソン大会等へ参加する職員等への助成。

(3) 職員が資格取得を目的とした講習会へ参加するための費用の助成。

(4) その他理事長が認める事業。

収 支 予 算 書

平成24年4月1日から平成25年3月31日まで

(単位:千円)

科目		当年度予算額	前年度予算額	増 減	備 考
I 事業活動収支の部					
大科目 中科目					
1. 事業活動収入					
① 雑収入		(1)	(2)	(△ 1)	
1 受取利息収入		1	2	△ 1	
1 受取利息		1	2	△ 1	
事業活動収入計		1	2	△ 1	
2. 事業活動支出					
① 事業費支出		(2,725)	(3,800)	(△ 1,075)	
1 福利厚生事業費		2,725	3,800	△ 1,075	
(1) 高年齢者福利事業費		2,725	3,800	△ 1,075	
1 報酬		50	50	0	
8 旅費		318	270	48	
9 交際費		50	10	40	
10 福利厚生費		1,042	2,140	△ 1,098	
11 消耗品費		126	216	△ 90	
12 燃料費		126	252	△ 126	
16 修繕料		53	53	0	
20 手数料		303	118	185	
21 保険料		103	84	19	
23 使用料及び賃借料		240	240	0	
26 負担金		277	338	△ 61	
27 公課費		37	29	8	
事業活動支出計		2,725	3,800	△ 1,075	
事業活動収支差額		△ 2,724	△ 3,798	1,074	
II 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
投資活動収入計					
2. 投資活動支出					
投資活動支出計					
投資活動収支差額					
III 財務活動収支の部					
1. 財務活動収入					
財務活動収入計					
2. 財務活動支出					
財務活動支出計					
財務活動収支差額					
IV その他					
1. 予備費支出		(114)	(391)	(△ 277)	
1 予備費支出		114	391	△ 277	
1 予備費		114	391	△ 277	
予備費支出計		114	391	△ 277	
当期収支差額		△ 2,838	△ 4,189	1,351	
当期収入合計		1	2	△ 1	
当期支出合計		2,839	4,191	△ 1,352	
前期繰越収支差額		4,058	4,939	△ 881	前期繰越収支差額は22、21年度の決算額を計上。
前期繰越収支差額		4,058	4,939	△ 881	
次期繰越収支差額		1,220	750	470	

注1) これは、新公益法人会計基準に基づき作成された予算書で、決算における収支計算書に対応するものです。

注2) 前年度予算額は、前年度の収支計算の科目を当年度予算額の科目に対応させて組み替えて表示している。

注3) 予算計上のないものについては、『-』表示している。